

SONY®

3-786-819-02(1)

住所録葉書印字ソフト

はがき書お衛門

HBS-BO13D

使いかた

MSX2

MSX はアスキーの登録商標です。

©1988 by Sony Corporation

「はがき書右衛門」で こんなことができます。

「はがき書右衛門」は葉書の表書き(宛名、差出人)のみならず、裏面の文面も書ける、葉書き作成のためのソフトです。

住所録として約1000件まで登録できます。


- 登録した住所は、一覧表に氏名のアイウエオ順に並べられます。
- 地域別、学校、会社別などグループ別に分けて登録することができます。
- 特定の情報を入力しておくことにより、後からその条件を満たす氏名を検索することができます。

加勢 アド 川岡 信敏 FAX (444-5555)	s12.3.12 231- 〒 222-22 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 4階
加勢 アド 坂本 祐也 (株)黄金堂	s30.4.10 554-6533 〒 108-33 東京都港区高輪4-10-18
セキネ ショウ 千種 秀一 林建設株式会社	s20.12.11 234-5678 〒 234-44 東京都新宿区歌舞伎町2-19-1
タノ アキ 高野 明夫 高野電計 社長	s7.10.11 387-4314 御蔵基 〒 123-33 世田谷区小用賀3-1-102
タノ トシ 田村 紀樹 青山電光株式会社	s50.02.12 441-2800 〒 343-45 松戸市常盤平4-3-4
トウガ ショウ 徳永 俊介 ゴルフショップ経営	s14.4.20 0720-23-4444 〒 233-45 大阪府池田市姫室町13-1
ナカハ トシ 中村 亨 杉山不動産	s20.3.10 0727-44-3333 〒 223-45 東京都中央区日本橋本町14-2
ニシキリ アツ 西野 泰三郎 西野クリニック	s05.3.12 03-3333-4567

文面用ワープロ機能を備えています。

- 8件(1件につき約600文字)の文書を登録できます。
- 文字を拡大したり、飾りをつけて印刷することができます。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---




〒 141-22 東京都品川区2-3
シスター・マリア ハウス
竹沢 誠

田村 義和様

明けまして
おめでとう
ございます
昨年は大変お世話になりました
本年もよろしくお願ひ致します
元旦

葉書の宛名、文面とも付属の毛筆ディスクを使って毛筆で印刷することができます。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---



〒 141-22 東京都品川区2-3
シスター・マリア ハウス
竹沢 誠

田村 義和様

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます
本年もさらに皆様の御期待にそうべく一層の努力をいたす
所存でございますので御指導御鞭撻の程お願い申し上げます

東京都杉並区高円寺1-2-3
丸橋恵南ビル4F

通信カートリッジと併用して、住所録に登録してある電話番号をオートダイヤルすることができます。

このマニュアルの使いかた	8
ディスクについて	9
住所録に必要な機器を確認しましょう	10
「はがき書右衛門」のスタートと終了のしかた	11
スタートのしかた	11
終了のしかた	12

使いかた編

葉書の表を書き（住所録に登録）、印刷する	14
住所録を選ぶ	14
カードに宛名を書く	15
記入したカードを住所録に登録する	18
差出人に登録する	19
表書きを印刷する	22
葉書の文面を書き、印刷する	24
文字を入力する	24
文字を拡大、強調する	28
文書を印刷する	30
文書に登録する	31

機能編

第1章 住所録 — 宛名書き —

住所録のスタート	34
「カードの一覧」画面について	35
宛名の記入	36
文字の入力	39
文字の入力のしかたを選ぶには	39
キー上の表示の見かたと押しかた	40
ひらがなの入力	40
英数字の入力	41
カタカナの入力	41
半角文字の入力	41
文字の修正	42

機能編

漢字の入力	44
JISコードを使った漢字の入力	46
氏名の敬称の変更	47
宛名のレイアウト確認	48
宛名の登録	49
登録したカードを見るには	50
宛名の変更	51
「マーク」を「カードの一覧」画面で記入	53
カードを複写して別のカードに応用	54
カードの削除	55
差出人の記入	56
差出人のレイアウト状態を見るには	57
差出人を変更するには	57
葉書の表の印刷	58
宛先人を選ぶには	59
印刷項目を設定するには	60
毛筆で印刷するには	61
葉書をセットするには	62
作成した住所録をグループ分けして使う	66
住所録に登録されている氏名をグループ分けするには	66
住所録に登録する時点でグループに振り分けていくには	68
グループ一覧を見るには	69
グループから氏名を削除するには	69
住所録の検索	70
特定の文字を検索するには	70
住所録の氏名を索引するには	73
住所録の終了	74
オートダイヤル	75
オートダイヤルのしかた	75

機能編

第2章 文書作成

文書作成の準備	78
文書を作成する画面を表示するには	78
文書名をつけるには	78
書式を設定するには	79
文書の作成	81
文書編集画面の説明	81
文書編集画面の入力について	81
文書の編集	82
文字のサイズを変更するには	82
文字に飾りをつけるには	83
センタリングをするには	84
行単位で削除するには	84
複写するには	85
移動するには	86
レイアウトを確かめるには	87
登録するには	87
文書単位の消去と複写	88
文書全体を複写するには	88
文書全体を消去するには	89
文書の印刷	90
ディスクのバックアップ	91
ディスクを初期化するには	91
ディスクをコピーするには	91

付録

エラーメッセージ一覧	96
ローマ字かな対応表	97
JISコード一覧	99
索引	109

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
- ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。
それ以外の責はご容赦ください。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このプログラムの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

このディスクは **MSX2** マークがついていないパーソナルコンピュータでは使用できません。

このマニュアルの使いかた

このマニュアルでは操作について、以下のように使いかた編と機能編に分けて説明してあります。
「はがき書右衛門」をお買い上げいただいてから操作をするまでの準備についても必ずお読みください。

使いかた編

初めてワープロをお使いになる方、またはこの「はがき書右衛門」を初めて
お使いになる方へ、次の実例にそってご紹介してあります。

- 年賀状の宛名の内容を登録し、印刷する
- 年賀状の文面を書き、印刷する

実例に従って操作してください。基本的な機能を使いこなせるようになります。

機能編

このワープロのすべての機能について、操作目的別にまとめてあります。
使いかた編よりさらに詳しい説明が知りたいとき、あるいは使いかた編には
無い操作を行うときは、機能編をお読みください。

マニュアル内の表記について

MSXコンピュータのボタンはすべて で囲んであります。

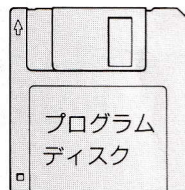
(RETURN) は キーを押すことを示し、 (F1) (追加) は機能を選ぶ画
面から「追加」を選ぶために キーを押すことを示します。

ディスクについて

「はがき書右衛門」は3枚のフロッピーディスクで構成されています。

プログラムディスク

住所録や文書用のプログラムが入っています。このディスクに住所や文面を登録します。プログラムディスクは毛筆ディスクを使うとき以外は、必ずドライブに入れたままで、お使いください。



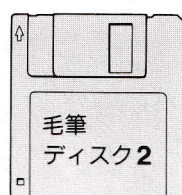
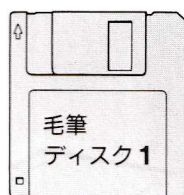
毛筆ディスク 1 (JIS第1水準の毛筆漢字)

毛筆ディスク 2 (JIS第2水準の毛筆漢字)

毛筆で印刷するときに使います。

(JIS第1水準の毛筆漢字)

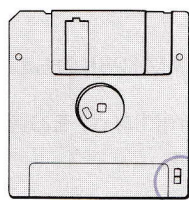
(JIS第2水準の毛筆漢字)



大切なプログラムや登録したデータを消してしまうことのないように、必ず、ディスクのバックアップをとってからお使いください。(91ページ「ディスクのバックアップ」をご覧ください。)

ディスクのタブについて

ディスクのタブの位置により、ディスクへの書き込みが可能、または不可能になります。住所録や文面の内容を登録する（書き込む）ため、プログラムディスクのタブは書き込み可能の位置にしてください。



タブ



書き込み可



書き込み不可

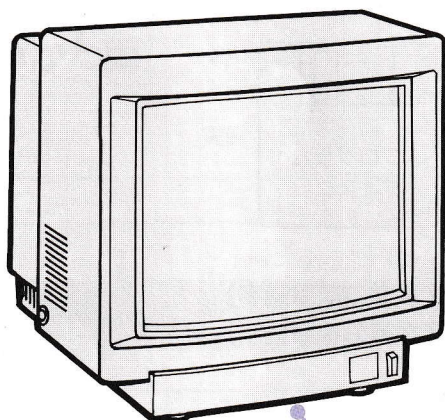
住所録に必要な機器を確認しましょう

「はがき書右衛門」を使うにあたって接続する機器を確認します。

モニター

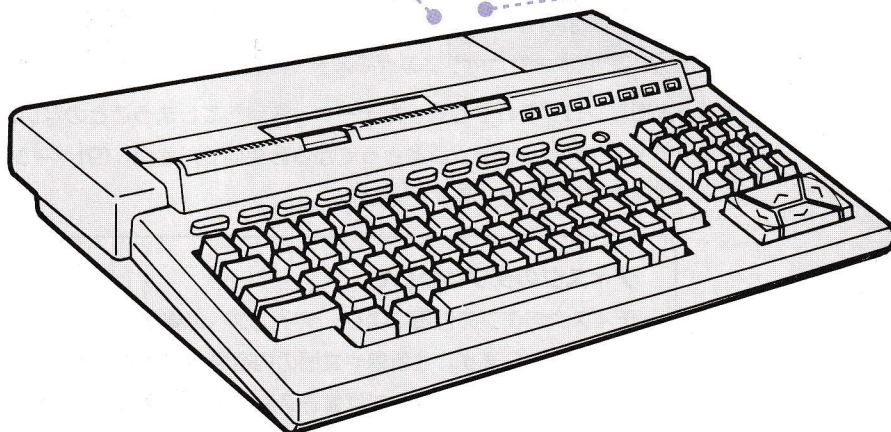
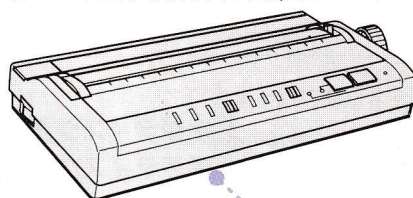
アナログRGB対応のCPS-14F1などをお薦めいたします。

(ソニーCPS-14F1など)



MSXプリンター

(ソニーPRN-M24TYPEII, HBP-F1)



MSX2パーソナルコンピューター

ソニーHB-F1XDJなどRAM64K以上、VRAM128Kのものをお使いください。

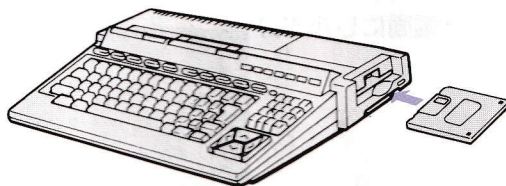
MSX-JEを内蔵していない機種(HB-F1XDmkIIなど)をお持ちの方は、MSX標準日本語カートリッジ「HBI-J1」が必要です。

「はがき書右衛門」の スタートと終了のしかた

11

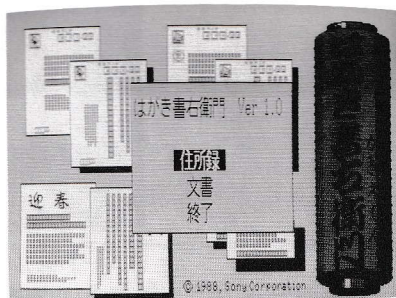
スタートのしかた

1 プログラムディスクをディスクドライブに差し込みます。



ディスクはパチンと音がするまで差し込みます。

2 モニターテレビ、プリンター、MSX2 パーソナルコンピューターの電源を入れます。プログラムディスクのプログラムがスタートします。スタート画面が表示されます。



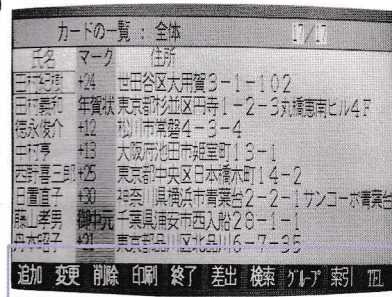
スタート画面

「はがき書右衛門」のスタートと終了のしかた

終了のしかた

1「カードの一覧」画面または「文書一覧」画面になっていることを確認します。

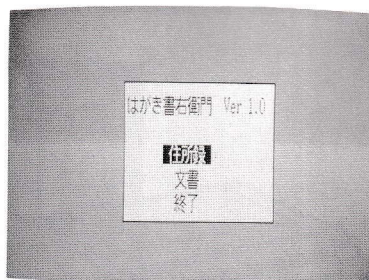
(画面が日本語を入力する画面のときは、**[TAB]**を押して、機能選択画面にします。)



機能を選択する画面

2 **[F5]** (終了) を押します。

スタート画面に戻ります



スタート画面に戻ります。

ご注意

終了するときには、必ずスタート画面に戻ってください。途中で電源を切ると、次回スタートするのにかなり時間がかかります。

3「終了」を選び、**[RETURN]**を押します。

MSX-DOSの画面に戻ります。

4 パーソナルコンピュータの電源を切ります。

使いかた編

<input type="text"/>	1 0 1 - <input type="text"/>	東京都品川区	明けまして おめでとうございます 一九八九年 元旦
山田太郎 様	6-7-35		
〒168 佐藤花子	東京都杉並区 3-1		
<input type="text"/>			

「はがき書右衛門」を使って、まず上にあるような年賀状を作ってみましょう。
基本的な使いかたを覚えることができます。

この年賀状を作るには、次の手順で行います。

1 葉書の表を書き(住所録に登録)、印刷する	14
住所録を選ぶ	14
カードに宛名を書く	15
記入したカードを住所録に登録する	18
差出人に登録する	19
表書きを印刷する	22
2 葉書の文書を書き、印刷する	24
文字を入力する	24
文字を拡大、強調する	28
文書を印刷する	30
文書に登録する	31

詳しくお知りになりたい部分については、左側に表示されている機能編の参照ページをご覧ください。

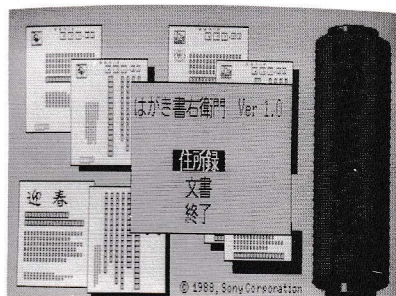
葉書の表を書き(住所録に登録)、印刷する

葉書の宛先を書き印刷するには、宛名と差出人を住所録に登録しておきます。

住所録を選ぶ

1「はがき書右衛門」をスタートします。

スタート画面が表示されます。



2「住所録」を選び、[RETURN] を押します。

しばらくすると、「カードの一覧」画面が表示されます。

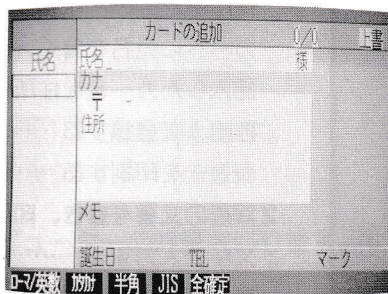
○何も入力されていないときには、画面は自動的に「カードの追加」に移ります。

○すでにカードが登録されているときには、[F1] (追加) を押します。

ここでは初めてなので、自動的に「カードの追加」画面に移ります。この画面に宛名を入力します。

3日本語を入力できるように、まず[TAB]を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

文字を入力するときには、必ずこの画面で行います。



ひとつ前の画面に戻るには

[ESC] を押します。

スタート画面に戻るには

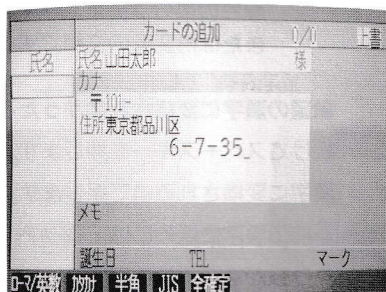
[TAB] を押して機能を選択する画面に戻ってから、[F5] (終了) を押します。

カードに宛名を書く



次のように、宛名を「カードの追加」画面に記入します。

例



「氏名」欄に入力するには

1「かな入力」か「ローマ字入力」かを選びます。

「かな入力」はキーボードの“かな”表示に従って入力する方法です。

「かな」を押し、キーのランプを点灯させます。

「ローマ字入力」はキーのアルファベット表示に従って入力する方法です。

この場合は、「かな」キーは押さないでください。

2ひらがなで「やまだたろう」と入力します。

次のキーを押します。

「かな入力」の場合

やまた"たろう → やまだたろう

「ローマ字入力」の場合

YAMADATAROU → やまだたろう

このとき、Y Aと入力して画面に「や」と表示されず、「ya」と表示されたら、英字の入力になっているためです。その場合には、F1 (ローマ/英字) を押すと、ローマ字入力に切り換わります。(特に表示は変わりません。)

間違えて入力したときは

間違えた文字を消して入力し直してください。

○カーソルの前の文字を消すには、BS を押します。

○カーソルの位置の文字を消すには、DEL を押します。

葉書の表を書き(住所録に登録)、印刷する

3 スペースキーを押して、漢字に変換します。

文節ごとに区切られて変換されます。



希望の漢字に変換されなかったときは

続けてスペースキーを押します。押すたびに別の漢字が表示されます。希望の漢字に変換されるまで押します。

- 前の漢字に戻るには、**[GRAPH]** を押します。
- ひらがなの状態に戻すには、**[ESC]** を押します。

4 **[RETURN]** を押して、文節ごとに漢字を確定します。

文字の後の色がとれた状態を「確定」といいます。

「山田」と「太郎」は2つの文節から成っていますので、**[RETURN]** を2度押します。

山田太郎

漢字に変換された表示がすべて正しいときには

[F5] (全確定) を押すと、1度に全部の漢字が決まります。

5 **[RETURN]** を2度押します。

「〒」欄にカーソルが移動します。

「〒」(郵便番号) 欄を入力するには

[かな] のランプが消えていることを確認します。

ランプがついていたら、押して消します。

1 次のキーを押します。

[1][0][1] → **101**

2 **[RETURN]** を押して文字を確定します。

3 **[RETURN]** を押して、カーソルを次の行(住所)に移します。

「住所」欄を入力するには

- 1 「かな入力」か「ローマ字入力」かを選び、ひらがなで「とうきょうとしながわく」と入力します。

次のキーを押します。

「かな入力」の場合

と う き SHIFT + よ う と し な か " わ く

→ とうきょうとしながわく

「ローマ字入力」の場合

T O U K Y O U T O S I N A G A W A K U

→ とうきょうとしながわく

- 2 スペースキーを押して、漢字に変換します。文節ごとに区切られて変換されます。

東京都 品川区

- 3 **[RETURN]** を押して文節ごとに漢字を確定します。

この場合2つの文節からなっているので、**[RETURN]** を2度押します。

東京都品川区

- 4 **[RETURN]** を押してカーソルを次の行に移動します。

- 5 スペースキーを10回押します。

カーソルが「区」の文字の下に移動します。

- 6 数字「6-7-35」を全角で入力します。

かなのランプが消えていることを確かめます。

「かな入力」をしていたときは、かなを押してランプを消します。

次のキーを押します。

6 - 7 - 3 5 → 6-7-35

- 7 **[RETURN]** を押して数字を確定します。

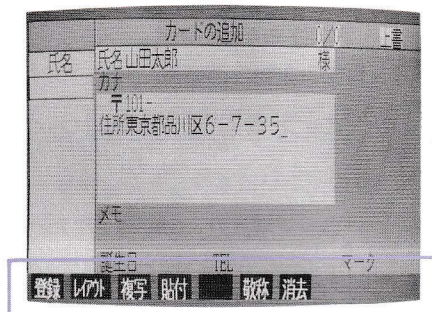
6-7-35

これで葉書の宛名にあたる部分をカードに記入できました。

葉書の表を書き(住所録に登録)、印刷する

記入したカードを住所録に登録する

- 1 **[TAB]** を押して、機能を選択する画面に切り換えます。



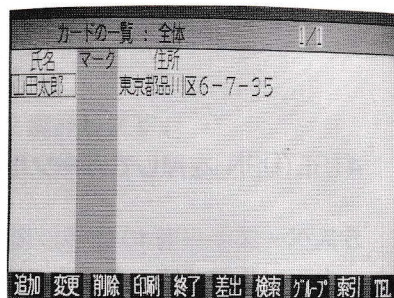
- 2 **[F1]** (登録) を押します。

これで登録ができました。

登録されたカードの氏名が左側「氏名」欄に赤枠で囲まれます。

- 3 **[ESC]** を押して、「カードの一覧」画面に戻します。

登録した宛名が「カードの一覧」画面に表示されます。



差出人を登録する



差出人は、1名しか登録できません。ここでは、次のように入力します。

例

1 **[SHIFT]** を押しながら、**[F1]** (差出) を押します。

「差出人の変更/登録」画面が表示されます。

2 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面を出します。

葉書の表を書き(住所録に登録)、印刷する

3「氏名」、「〒」、「住所」欄を次のように入力します。

入力は宛名をカードに記入したときと同じ要領で行います。

氏名の入力

1 次のキーを押します。

「かな入力」の場合

さとうはなこ → さとうはなこ

「ローマ字入力」の場合

SATOUHANAKO → さとうはなこ

2 スペースキーを押して、漢字に変換します。

佐藤 花子

3 [RETURN] を2度押して、漢字を確定します。

佐藤花子

4 [RETURN] を押して、カーソルを「〒」の位置に移します。

〒(郵便番号)の入力

[かな] が消えていることを確認してください。「かな入力」をしていたときは、[かな] を押してランプを消します。

1 次のキーを押します。

168 → 168

2 [RETURN] を押し、文字を確定します。

168

3 [RETURN] を押して、カーソルを「住所」の欄に移します。

住所の入力

「かな入力」か「ローマ字入力」かを選び、ひらがなで入力します。

1 次のキーを押します。

「かな入力」の場合

と う き SHIFT + よ う と す き " な み く

→ とうきょうとすぎなみく

「ローマ字入力」の場合

T O U K Y O U T O S U G I N A M I K U

→ とうきょうとすぎなみく

2 スペースキーを押して、漢字に変換します。

東京都 杉並区

3 [RETURN] を2度押して、漢字を確定します。

東京都杉並区

4 [RETURN] を押してカーソルを次の行に移動します。

5 スペースキーを10回押して、カーソルを「区」の下に移動します。

6 数字を全角で入力します。

[かな] が消えていることを確認してください。「かな入力」をしていたときは、

[かな] を押してランプを消します。

3 - 1 → 3-1

7 [RETURN] を押し、数字を確定します。

3-1

8 [TAB] を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

9 [F1] (登録) を押して、差出人を登録します。

画面は、「カードの一覧」に戻ります。

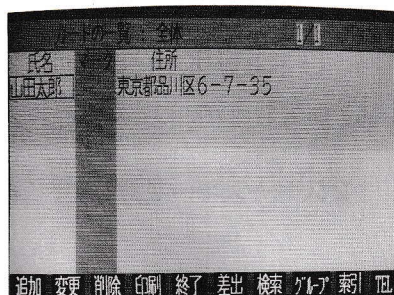
葉書の表を書き(住所録に登録)、印刷する

表書きを印刷する



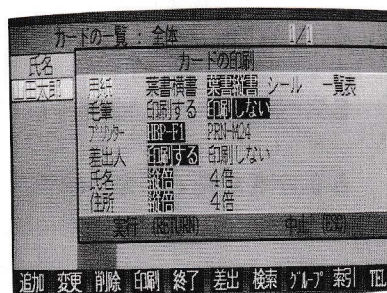
宛名と差出人を登録したので、ここで表書きを印刷してみましょう。練習用ですので、付属のテスト用葉書を使って印刷します。テスト用葉書のセットのしかたについては、62ページを参照してください。

- 1 「カードの一覧」画面で印刷する宛名「山田太郎」を選び、**[RETURN]**を押します。



- 2 **[F4]** (印刷) を押します。

「カードの印刷」画面が表示されます。



- 3 「カードの印刷」の項目を設定します。

ここでは初期設定値を変更しないで印刷してみましょう。ただしプリンターの項目はお使いになるプリンターに合わせてHBP-F1またはPRN-M24を選びます。

- 4 印刷を始めるには、**[RETURN]**を押します。

印刷が始まります。

途中で印刷を中止するには

[ESC]を押します。

これで宛名書きが終了しました。続けて文面を印刷するには次の「葉書の文面を書き、印刷する」に進みます。宛名だけを印刷する場合は、ここで終了することができます。

住所録の操作を終わるには

1「カードの一覧」画面で、[F5]（終了）を押します。

スタート画面に戻ります。



2「終了」を選び、[RETURN]を押します。

しばらくすると MSX-DOS の画面に変わります。プログラムディスクをドライブから抜いて、電源を切ります。

これで葉書の宛名書きが終了しました。

葉書の文面を書き、印刷する



<input type="checkbox"/>	1 0 1 <input type="checkbox"/>	東京都品川区	明けてまして おめでとうございます
	山田太郎 様	6-7-35	
〒 168	東京都杉並区		一九八九年 元旦
佐藤花子	3-1		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

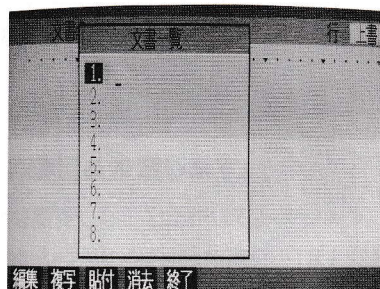
文字を入力する



文面を書くには、スタート画面で「文書」を選びます。(11 ページ参照)

1 スタート画面で、「文書」を選び、**[RETURN]** を押します。

「文書一覧」画面が表示されます。



2 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

3 これから作成する文書に名前(文書名)をつけます。

ここでは、「年賀状」と入力してみます。

「かな入力」か「ローマ字入力」かを選び、ひらがなで入力します。

1 次のキーを押します。

「かな入力」の場合

ねんか"し"SHIFT + よう → ねんがじょう

「ローマ字入力」の場合

NENGAIYOUU → ねんがじょう

2 スペースキーを押して漢字に変換します。

年賀状

3 [RETURN] を押して確定します。

年賀状

4 [TAB] を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

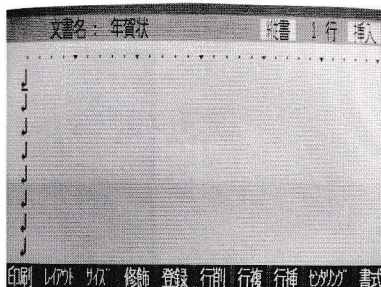
5 [F1] (編集) を押します。

文書編集画面が表示されます。

ここでは、新しく文書を作るため、画面は自動的に「文書の書式設定」画面に移ります。書式とは、葉書に合わせて文字間隔、行間隔、縦書、横書などを設定することをいいます。

この場合は、変更する必要がないためこのまま [RETURN] を押します。

文書編集画面になります。



6 [TAB] を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。



葉書の文面を書き、印刷する

7 **[RETURN]** を6回押してカーソルを7行目に移します。

8 文書を入力します。まず全角で入力します。

「明けてまして」をひらがなで入力します。

1 次のキーを押します。

「かな入力」の場合

あけまして → あけてまして

「ローマ字入力」の場合

A K E M A S I T E → あけてまして

2 スペースキーを押して、漢字に変換します。希望の漢字が出るまで繰り返し
スペースキーを押します。

明けてまして

3 **[RETURN]** を押して文字を確定します。

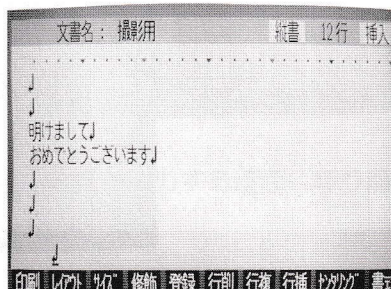
明けてまして

4 もう1度 **[RETURN]** を押して、カーソルを次の行の頭に移動させます。

「おめでとうございます」をひらがなで入力します。

5 **[RETURN]** を押して確定します。

6 **[RETURN]** を4度押してからスペースキーを4回押します。



「一九八九年」をひらがなで入力します。

この場合、各数字を1つずつ変更していきます。

1 次のキーを押します。

「かな入力」の場合

い ち → スペース → 一

き SHIFT + ゆ う → スペース → 九

は ち → スペース → 八

き SHIFT + ゆ う → スペース → 九

ね ん → スペース → 年

「ローマ字入力」の場合

I T I → スペース → 一

K Y U U → スペース → 九

H A T I → スペース → 八

K Y U U → スペース → 九

N E N N → スペース → 年

2 [RETURN] を押して、文字を確定します。

一九八九年

スペースキーを2回押してから、続けて同じ行に「元旦」を入力します。

1 次のキーを押します。

「かな入力」の場合

か " ん た ん → がんたん

「ローマ字入力」の場合

G A N T A N N → がんたん

2 スペースキーを押して、漢字に変換します。希望の漢字が出るまで繰り返しスペースキーを押します。

元旦

3 [RETURN] を押して、漢字を確定します。

元旦

これですべての文字が確定しました。

9文字の入力が終わったら、[TAB] を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

文字を拡大、強調する



入力した文字は、文字の大きさを変えたり、文字に飾りをつけたりすることができます。文字の大きさや飾りつけは、行単位で行います。

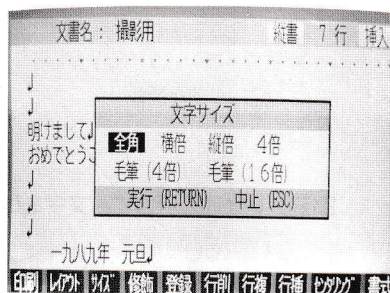
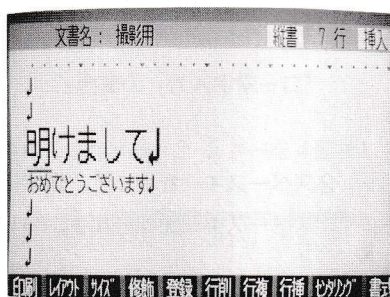
文字の大きさを変える

1 カーソルを文字の大きさを変えたい「明けてまして」の行に合わせます。

(カーソルは、その行のどの位置にあっても構いません。)

2 **[F3] (サイズ)** を押します。

「文字サイズ」の画面が表示されます。

3 「4倍」の文字サイズを選び、**[RETURN]** を押します。

4 次にカーソルを「おめでとうございます」に合わせ、上記ステップ1~3を行いサイズを4倍にします。



文字に飾りをつける

4倍にした文字に飾りをつけます。

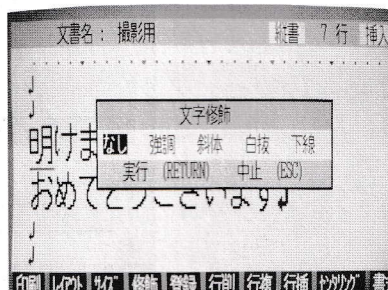
ここでは、文字を「強調」してみましよう。

1 カーソルを文字に飾りを付けたい行に合わせます。

カーソルは飾りをつけたい行のどの位置にあっても構いません。

2 **[F4]** (修飾) を押します。

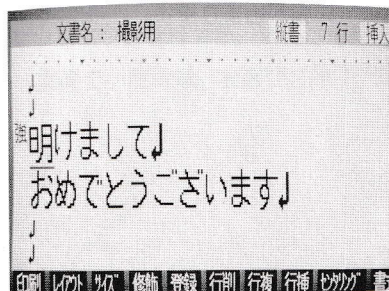
「文字修飾」画面が表示されます。



3 「強調」を選び、**[RETURN]** を押します。

強調したい行の頭に、「強」と表示され、その行が強調されたことを示します。

印刷すると、強調されます。



4 次にカーソルを「おめでとうございます」に合わせ、上記ステップ1～3を行い文字を強調します。

葉書の文面を書き、印刷する

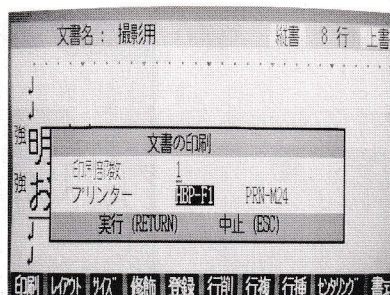
文書を印刷する



これまでで、葉書の文面の作成が終わりました。文字の修飾は、行頭にマークが表示されるだけです。印刷されてはじめて見ることができます。
テスト用葉書（宛名を印刷したもの）を縦書用にプリンターにセットします。
セットのしかたについては62ページをご覧ください。

1 ☐ F1 (印刷) を押します。

「文書の印刷」画面が表示されます。



2 印刷したい条件にあわせて印刷項目を設定します。

プリンターの項目は、お使いのプリンター名に合わせます。

3 印刷を始めるには、☐ RETURN を押します。

印刷が始まります。

文書を登録する

作成した文書は、後から使うためにも登録しておきます。

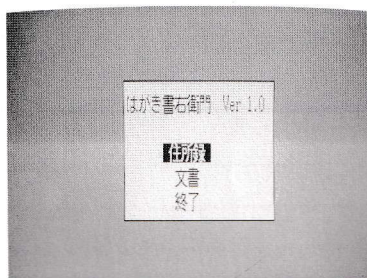
文書を作成し終わったら **[F5]** (登録) を押します。

これで、登録した文書名で登録されました。

文書画面を終了するには

1 **[F5]** (終了) を押します。

スタート画面に戻ります。



2 そのまま「はがき書右衛門」を終了するには、「終了」を選び、**[RETURN]** を押します。

MSX-DOSの画面に戻ります。MSX-DOSの画面からもう1度住所録に戻るには、いったんリセットボタンを押すか、または電源を切ってから、もう1度電源を入れスタート画面で「住所録」を選び、**[RETURN]** を押します。

機能編

第1章

住所録 — 宛名書き —

住所録のスタート	34
宛名の記入	36
文字の入力	39
氏名の敬称の変更	47
宛名のレイアウト確認	48
宛名の登録	49
宛名の変更	51
「マーク」を「カードの一覧」画面で記入	53
カードを複写して別のカードに応用	54
カードの削除	55
差出人の記入	56
葉書の表の印刷	58
作成した住所録をグループ分けして使う	66
住所録の検索	70
住所録の終了	74
オートダイヤル	75

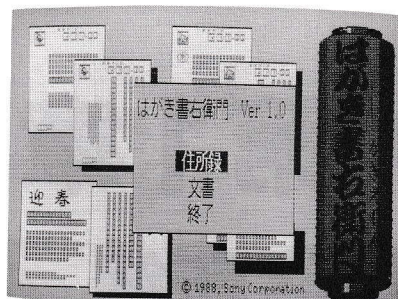
「はがき書右衛門」のプログラムディスクには、約1000件の住所、氏名を登録できます。そして、それらの登録してある宛名は、葉書に印刷することができます。

この住所録には、宛名に必要な項目以外にも、誕生日やメモなども記入できます。登録した宛名はグループ別にまとめて管理したり、また特定の語句を指定することにより、簡単に検索することができます。

住所録のスタート

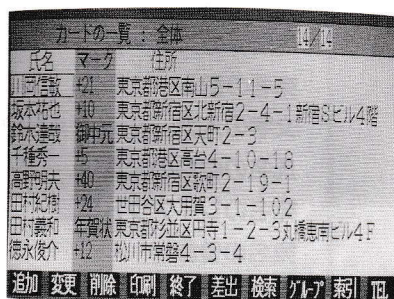
1「はがき書右衛門」をスタートします。

スタート画面が表示されます。



2「住所録」を選び、[RETURN]を押します。

「カードの一覧」画面が表示されます。



○何も入力されていないときには、画面は自動的に「カードの追加」に移ります。

○すでにカードが登録されているときには、[F1] (追加) を押します。

「カードの一覧」画面について

この画面では登録されたカードの氏名がアイウエオ順に表示されます。

住所録を使うには、常にこの「カードの一覧」画面から画面下の機能を選びます。この画面では、住所録の記入、変更はできません。（「マーク」以外）。

「カードの一覧」画面の見かた

- この画面で氏名、マーク、住所のほかには、郵便番号、TEL、誕生日、メモなどを見たいときには、**[SHIFT]**を押しながら右(▶)のカーソルを押します。
元の一覧表に戻すには**[SHIFT]**を押しながら左(◀)のカーソルを押します。
- 画面をスクロールしたいときには、**[SHIFT]**を押しながら上下(Δ▽)のカーソルキーを押します。
画面下の機能は、左より順にファンクションキー(**[F1]**、**[F2]**・・・)に対応しています。対応するキーを押します。6番目以降は、**[SHIFT]**を押しながら**[F1]**、**[F2]**・・・と押します。

現在の一覧表の件数／全体の件数
(グループの件数／全体の件数：グループ一覧のとき)
検索後は該当件数／全体の件数：検索中

氏名	マーク	住所
山田太郎	+21	東京都港区南山5-11-5
森田花也	+10	東京都新宿区北新宿2-4-1 新宿ビル4階
鈴木達哉	+08	東京都新宿区天町2-3
千種秀一	+45	東京都港区高台4-10-10
高野明夫	+40	東京都新宿区歌町2-19-1
田村紀樹	+24	世田谷区大用賀3-1-102
田村素和	+06	東京都杉並区円寺1-2-3 丸蔵ビル4F
徳永俊介	+12	松江市常盤4-3-4

追加 変更 削除 印刷 終了 差出 検索 クリア 案内

全体：カード全体の一覧表のとき
(グループ名：グループの一覧表のとき)

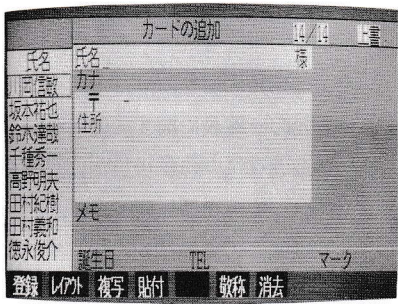
「カードの一覧」画面を出すには

- 他の画面から「カードの一覧」画面に戻すには、**[ESC]**を押します。
- 検索の結果の「カードの一覧」画面や、グループの「カードの一覧」画面から住所録全体の「カードの一覧」画面に戻すには、**[HOME]**を押します。

個人別の住所、電話番号などをカードに記入します。

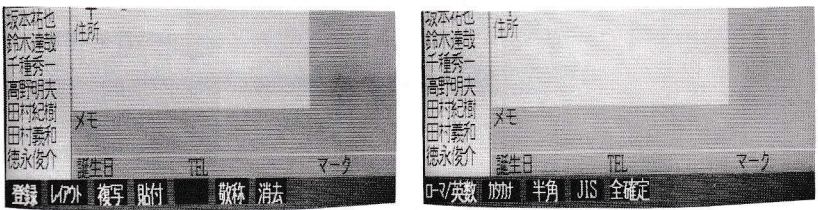
1「カードの一覧」画面で **[F1]**（追加）を押します。

「カードの追加」画面が表示されます。この画面で宛名を記入し、登録します。
(プログラムディスクを初めてお使いになるときは、**[F1]**（追加）を押さなくても自動的に「カードの追加」画面になります。



2 カードの記入を行うためには、**[TAB]** を押して、日本語の入力ができる画面に切り換えます。

日本語を入力をする画面から機能を選ぶ画面に戻るにはもう1度**[TAB]**を押します。



機能を選択する画面 ← **[TAB]** → 日本語を入力する画面

3各項目を記入していきます。

文字の入力のしかたは39ページ「文字の入力」をご覧ください。

氏名

敬称を含めて、漢字16文字まで入力できます。敬称の文字数が増えると、その分宛名に使える文字数が減ります。

ここで入力したまま印刷されますので、氏名の姓と名の間は、適当にスペースを入れておくと良いでしょう。

毛筆で横書きに印刷するには、敬称を含めて11文字以内で入力します。毛筆について詳しくは61ページ「毛筆で印刷するには」をご覧ください。

住所録
宛名書き
機能編

カナ

氏名の読みをカタカナまたは英数字で表示します。

この「カナ」欄の読みによって、「カードの一覧」画面の氏名欄にアイウエオ順に並べられます。並べられる順序は、「スペース」（カナ欄に入力されていない状態）、「数字」、「英大文字」、「英小文字」、「カタカナ」です。この欄に入力しない場合は、「カードの一覧」画面の、初めに並べられます。

ひらがな、英数字で入力して **[RETURN]** を押します。画面上にはカタカナまたは英数字の半角文字で表示されます。漢字は入力できません。

住所

住所を入力します。

漢字で64文字を4行に収めることができます。この欄は、氏名に入りきらない会社名や連名にした場合の氏名を入力するのにも利用します。

この画面に表示されているままに印刷されますので、レイアウトを考えて入力してください。（宛名のレイアウトの確認は48ページをご覧ください。）

毛筆で横書に印刷するには、1行の文字数を11文字以内にします。また、半角文字で入力すると、毛筆、縦書きで印刷することはできません。

〒（郵便番号）

郵便番号を入力します。

英数字、カタカナ、記号の入力ができます。

メモ

漢字を含めて48文字まで入力できます。

宛名人についての覚書などをメモしておきます。

例えば学校の同級生なら「学校名」とか、職場の仲間なら「会社名」などを記入しておくとか後から検索するときに便利です。検索については、70ページ「特定の文字を検索するには」をご覧ください。

誕生日

誕生日を入力します。

英数字、カタカナ、記号でのみ入力でき、10文字まで表示できます。

誕生日で検索するには、年、月、日の区切りに異なった記号を使うと良いでしょう。区切り記号、スペースも検索の対象になります。

良い例：S02. 06／14, 1931／06・14

など、年、月間の記号を異なったものに統一して使います。

悪い例：02／06／14, 1906／03／14 などのように、年、月間の記号を同じにすると06／で、6月生まれを検索するとき、1906年生まれも一緒に検索されてしまいます。

TEL

電話番号を入力します。

英数字、カタカナ、記号で15文字まで入力できます。

マーク

英数字、カタカナまたは漢字いずれも3文字まで入力できます。

「カードの一覧」にも表示されますので、宛名人についての目印などに使うと便利です。

例

去年、年賀状を出した人には・・・・・・出

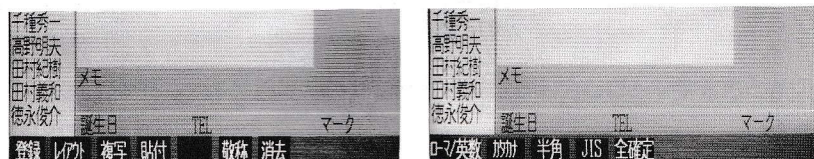
去年、年賀状が来た人には・・・・・・入

マークの入力は、「カードの追加」画面だけでなく、「カードの一覧」画面でもできます。「カードの一覧」画面で記入するには、53ページをご覧ください。

文字の入力

文字を入力するには、日本語を入力する画面で行います。

文字入力が終わって次の機能を選ぶときは、**[TAB]**を押すと機能を選択する画面に戻ります。



機能を選択する画面 ← **[TAB]** → 日本語を入力する画面

他社の MSX-JE をお使いになる場合日本語入力の変換キーが異なることがあります。

文字の入力のしかたを選ぶには

入力のしかたには、「かな入力」と、「ローマ字入力」があります。

かな入力

キーボードのひらがな表示に従って入力すると、そのひらがなが表示される方法です。ローマ字入力と比べて入力する回数が少ないので、慣れると速く打てます。**[かな]**を押して、ランプを点灯した状態で入力します。

ローマ字入力

アルファベットの表示に従って、ローマ字で書く通りに入力すると、ひらがなで表示される方法です。英文タイプに慣れている方にお勧めいたします。この場合、**[かな]**のランプは点灯していない状態で入力します。

ローマ字入力の場合の分りにくいキーの押しかた

入力したい文字 (画面上の文字)	押すキー
ん	[N] [N]
を	[W] [O]
っ (促音) あっと	「っ」に続くキーを2回押す [A] [T] [T] [O]
ー (長音)	[X]

ローマ字入力について、詳しくは97ページ「ローマ字かな対応表」を参照してください。

キー上の表示の見かたと押しかた

キー上の文字を入力するには、次のように押します。

ローマ字入力
のとき

かな入力するとき

[SHIFT] を押しなが
らキーを押します。

キーをそのまま
押します。



[SHIFT] を押しなが
らキーを押します。

キーをそのまま押します。

記号の入力のしかた（「ローマ字入力」上記の例外）

入力する記号	押すキー
・（中点）	/
。（句点）	.
、（読点）	,
。（ピリオド）	[SHIFT] + .
。（カンマ）	[SHIFT] + ,
「（左かっこ）	[
」（右かっこ）]

ひらがなの入力

「かな入力」 **かな** を押してランプを点灯させます。

次のように文字キーを押します。

ゆ め → ゆめ

小文字で入力するには [SHIFT] を押しなが
ら文字キーを押します。

「ローマ字入力」 **かな** のランプがついていないことを確認します。

次のように文字キーを押します。

Y U M E → ゆめ

小文字で入力するには、 [L] を入力してから文字キーを押します。

L Y U → ゆ

詳しくは97ページ「ローマかな対応表」をご覧ください。

スペースを入力するには

文字を入力中にスペースを入れるには、**[SHIFT]**を押しながらスペースキーを押します。文字が確定した後でスペースを入れるには、スペースキーを押します。

英数字の入力

[かな]が消えている状態で **[F1]** を押すと英数字入力とローマ字入力とが切り換わります。

大文字で入力するには：

[SHIFT]と文字キーを押します。

[SHIFT] + [A] → A

全部大文字にするときには、**[CAP]** を押してランプを点灯させます。

小文字で入力するには：

文字キーを押します。

[A] → a

カタカナの入力

1 かな入力またはローマ字入力です、ひらがなで入力します。

あさ

2 **[F2]** (カタカナ)を押します。

ひらがながカタカナに変換されます。

アサ

半角文字の入力

英数字、カタカナは半角で入力することができます。

半角文字は、まずひらがなまたは英数字で入力してから変換する場合と、直接半角で入力する場合と2通りあります。

入力してから半角に変換する場合

1 ひらがなまたは英数字で入力します。

2 **[F3]** (半角)を押します。

入力した文字が、半角になります。

半角文字を直接入力する場合

[TAB]を押して、機能を選択する画面に切り換えます。英数字またはカタカナを入力します。半角で入力されます。カタカナをローマ字入力する時には、**[SHIFT]**を押しながら **[かな]**を押します。

文字の修正

入力した文字を修正するには、次のようにします。

カーソルの前の文字を消すには

[BS] を押します。



カーソル位置にある文字を消すには

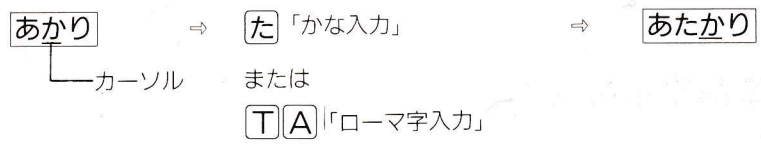
[DEL] を押します。



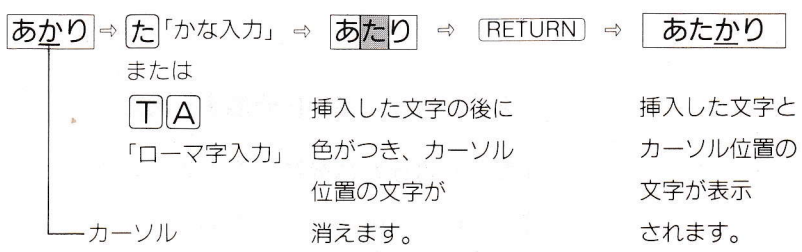
カーソル位置に文字を挿入するには

画面右上に「挿入」と表示されていることを確認します。「上書」と表示されていたら、[INS] を押して「挿入」に切り換えます。
(文字が確定する前は、「上書」と表示されていても、「挿入」になります。)

文字の確定前：



文字の確定後：



カーソル位置の文字を置き換えるには

画面右上に「上書」と表示されていることを確認します。

「挿入」と表示されていたら、**[INS]** を押して表示を「上書」に切り換えます。
(文字が確定する前は、「上書」と表示されていても、「挿入」になります。)

あかり ⇨ **た**「かな入力」 ⇨ **あたり** ⇨ **[RETURN]** ⇨ **あたり**

または

T A

「ローマ字入力」

入力した文字に
色がつきます。

確定するには、
[RETURN] を
押します。

文字が確定する前に文字をすべて消すには

[ESC] を押します。

カーソルを左端または右端に移動するには

文字を確定する前に **[SHIFT]** を押しながらカーソルキー(◀)を押すと、カーソルが変換前の文字の左端に移動します。

[SHIFT] を押しながらカーソルキー(▶)を押すと、カーソルが変換前の文字の右端に移動します。

行を挿入するには

画面右上に「挿入」と表示されていることを確認します。

行を挿入したい場所の次の行頭にカーソルを合わせ **[RETURN]** を押します。

文の途中から改行するには

「挿入」の状態で改行したい文字の先頭にカーソルを合わせ **[RETURN]** を押します。

漢字の入力

漢字で入力したいときには、まずその読みをひらがなで入力してから漢字に直します。このことを「変換」といいます。

1 入力したい漢字をひらがなで入力します。

ひらがなの後に色がついた状態で画面に表示されます。この状態の文字が漢字に変換できます。1度に変換できる文字は30文字です。(他社のMSX-JEでは14文字のものもあります。)

きょうのてんきはよいてんきで

2 入力したひらがなを確認し、間違いは修正します。

3 スペースキーを押します。

後に色がついているひらがなが文節ごとに区切られて、漢字に変換されます。

1番目の文節が緑色になっています。この緑色で囲まれた文節が更に他の漢字に変換できる文節です。

今日の天気はよい天気で

4 変換された漢字が正しければ、[RETURN]を押します。

1番目の文節が確定し、2番目の文節の色が変わります。

今日の天気はよい天気で

正しく変換されていないければ、正しい漢字がでるまでスペースキーを押します。

5 2番目の文節も正しければ、[RETURN]を押します。

このように1文節ごとに変換していきます。

前の変換候補に戻るには

[GRAPH]を押します。押すごとに1つつ前の候補に戻ります。

変換された漢字を確定するには

漢字変換後、表示されている全文節が正しいときは、**1度に確定**することができます。

2つの方法があります。

- 続けて次の文字を入力します。(この場合、次の1文字を入れて確定を確認してから続けて入力してください。)
- [F5]** (全確定) を押します。変換した文字すべての後の色がとれ、普通の文字になります。

変換前の入力文字に戻すには

[ESC] を押します。漢字に変換した文字を元のひらがなに戻すことができます。(次の文字を入力してしまったら、元に戻すことはできません。)

変換中の文字を消すには

[ESC] を2回押します。画面から変換中の文字が消えます。

文節の区切りを修正するには

文節の区切りが正しくないため、希望の漢字に変換されないときは、文節の区切りを修正します。

次の2つの方法があります。

■変換前の入力状態に戻して文節を区切り直す■

今日 歯医者に行った

1 左右のカーソルキーを押します。

変換文節が元のひらがなに戻ります。

きようはいしゃにいった

2 変換したい文節の後ろにカーソルを合わせます。

きようはいしゃにいった

└─カーソル

3 スペースキーを押します。区切られた文節がまず変換されます。

今日は いしゃにいった

4 同様にカーソルを次に区切りたい場所に移し、スペースキーを押して変換していきます。

■変換文節が表示されている状態で文節を区切り直す■

今日 歯医者に行った

○文節を長くするには

カーソルキー（△）を押します。

今日は いしゃにいった

○文節を短くするには

カーソルキー（▽）を押します。

居 うはいしゃにいった

ご注意

変換文節の候補が変化しないときは、それ以上長くまたは短くできません。

JISコードを使った漢字の入力

スペースキーを押しても正しい漢字が表示されない場合、99ページのJISコード表を使って漢字を入力することができます。

1 JISコード表から漢字を入力したい位置にカーソルを合わせます。

2 JISコード表の4桁のコードを入力します。

3 **[F4] (JIS)** を押します。

4桁数字が漢字に変換されます。

4 **[RETURN]** を押します。

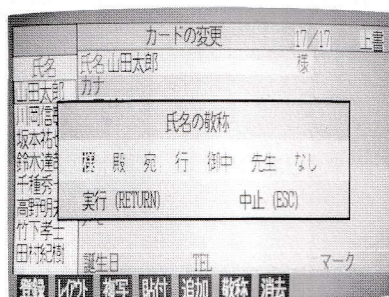
漢字が確定します。

氏名の敬称の変更

宛先人との間柄によって、宛先人それぞれに対してその敬称を変えることができます。敬称は宛名の氏名の文字数に数えられます。従って、敬称を含めて16文字まで氏名として入力できます。毛筆で横書の場合は、11文字までです。

- 1 「カードの追加」または「カードの変更」画面で、**[SHIFT]** を押しながら **[F1]** (敬称) を押します。

「氏名の敬称」画面が表示されます。



- 2 カーソルを左右に移動し、カードの宛先人にふさわしい敬称を選びます。

- 3 **[RETURN]** を押します。

「氏名」の敬称が選ばれた敬称に変わります。

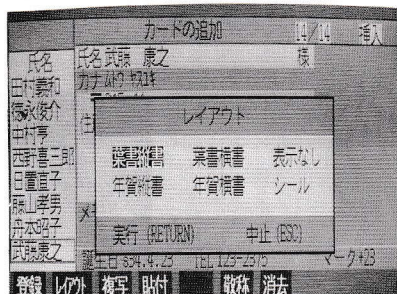
ご注意

印刷する場合、氏名が敬称を含めて15文字以内のときには、氏名と敬称との間に1文字分空けて印刷されます。

宛名のレイアウト確認

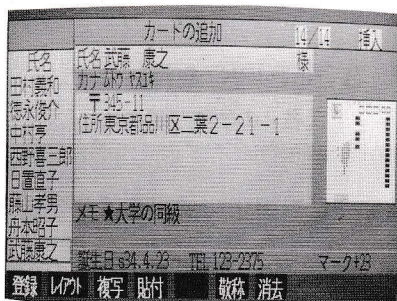
作成したカードはそのままのレイアウト状態で葉書に印刷されます。従って登録あるいは印刷する前に入力したカードのレイアウト状態を見ておくことをお勧めいたします。

- 1「カードの追加」または「カードの変更」画面で、**[F2] (レイアウト)** を押します。



- 2 該当する内容（印刷したい形式）を選び、**[RETURN]** を押します。

カードの内容が選ばれたレイアウトで表示されます。この状態で続けて入力、修正ができます。



- 3 レイアウトを消すには、再び **[F2] (レイアウト)** を押し、「表示なし」を選びます。

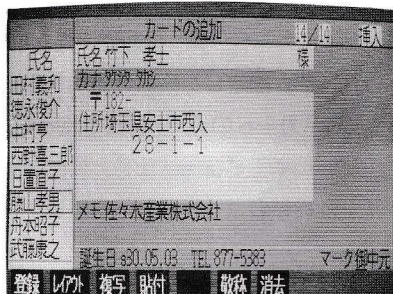
ご注意

- レイアウトは確認のためだけのものです。印刷するときに、縦書、横書などを指定します。
- 氏名、住所が15文字を越える場合、年賀状に縦書で印刷すると文字とイラストとが重なります。
- レイアウト表示中にカードに文字を入力しても、表示中のレイアウトには反映されません。レイアウトは、**[F2] (レイアウト)** を押した時点の内容を表示します。

宛名の登録

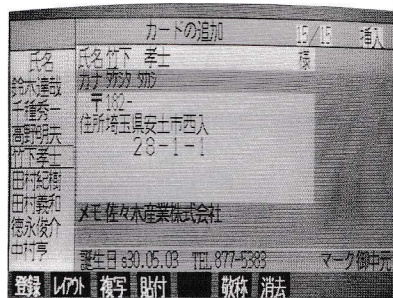
1 「カードの追加」画面の入力が済んだら、**[TAB]** を押します。

機能を選択する画面に切り換わります。



2 **[F1]** (**登録**) を押します。

登録が終わると、「カードの追加」画面で作成した宛名人の名前が、左側「氏名」欄の赤枠内に表示されます。



3 更に別の宛名を記入するには、登録したカードの内容を消します。

[SHIFT] を押しながら **[F2]** (**消去**) を押します。

カードが白紙になります。新しい宛名を記入します。

カードを白紙にしないで、**[INS]** で「上書」に切り換えて、別の宛名を上書きすることもできます。

4 記入が終わったら、**[F1]** (**登録**) を押します。

5 登録を終了するには **[ESC]** を押します。

「カードの一覧」画面に戻ります。

登録したカードを見るには

2通りの方法があります。

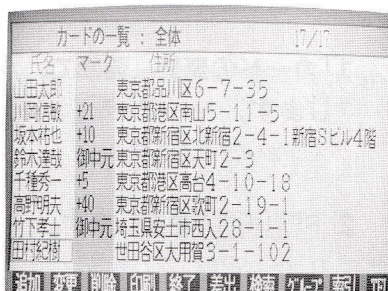
- 「カード一覧」画面で、見たいカードの氏名を選び、**[F2]** (変更) を押します。指定した氏名のカードが表示されます。
- 「カードの追加」画面で宛名を入力中に **[CTRL]** を押しながら、上下のカーソルキーで左側「氏名」欄にある見たい氏名をボックスで囲みます。選ばれた氏名のカードが表示されます。

宛名の変更

作成したカードの内容について変更したいときは、「カードの変更」画面にその宛名のカードを呼び出して変更することができます。

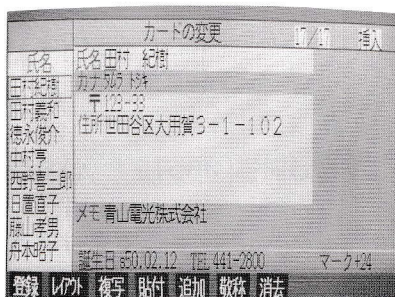
1 **[ESC]** または **[HOME]** を押して、「カードの一覧」画面を表示します。

2 変更したい氏名を選びます。



3 **[F2]** (**変更**) を押します。

選んだカードが表示されます。



4 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

カードの修正、追加をします。

5 変更が終了したら、**[TAB]** を押して機能を選択する画面に切り換えます。

6 変更したカードを登録します。

変更後のカードの内容を更新して登録するときは、**[F1]** (**登録**) を押します。変更したカードを新規として登録するには、**[F5]** (**追加**) を押します。前のカードはそのまま変更後の内容のカードが左側「氏名」欄に追加されます。

7 続けて別のカードを変更するには、**[CTRL]** を押しながら、上下のカーソルキーを押します。次に変更するカードを選び、同様に変更、登録をします。

8 **[ESC]** を押して、「カードの一覧」画面に戻します。

カードの内容をすべて消すには

1 「カードの変更」画面で、**[SHIFT]** を押しながら **[F2]** (消去) を押します。

メッセージが出ます。

2 **[RETURN]** を押します。

カードが白紙になります。新しい内容を入力します。

「マーク」を「カードの一覧」画面で記入

登録したカードに後からマークを記入する方法には、「カードの変更」画面で記入する方法と、「カードの一覧」画面で登録する方法があります。

(「カードの一覧」画面で記入できるのはマークのみです。)

1「カードの一覧」画面でマークを記入する氏名をカーソルで選びます。

2カーソル(▷)を押します。

「マーク」欄が白くなります。

氏名	マーク	住所
田村孝和		世田谷区大甲賀3-1-102
田村孝和	+	東京都渋谷区円寺1-2-3丸機恵南ビル4F
徳永俊介	+12	松江市常盤4-3-4
中村亨	+13	大阪府池田市鉦屋町13-1
西野喜三郎	+25	東京都中央区日本橋本町14-2
日置信子	+30	神奈川県横浜市青葉台2-2-1サンコー青葉台
藤上孝男	飯中元	千葉県浦安市西入船28-1-1
丹本昭子	+21	東京都品川区北品川16-7-35

追加 変更 削除 印刷 終了 差出 検索 グレア 索引 TEL

3 [TAB] を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

4マークの文字を入力します。

マークは漢字を含めて全角3文字です。

5マークを登録するには、[RETURN]を押します。

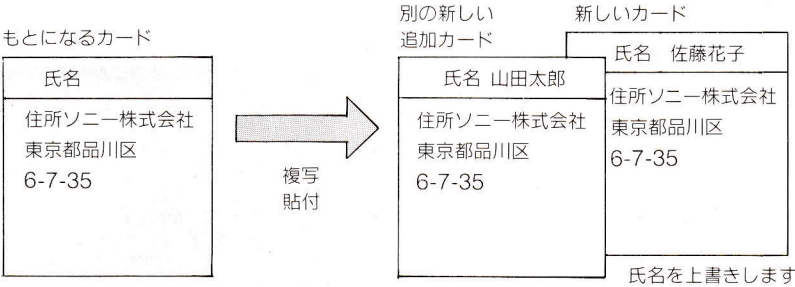
6カーソル(◀)を押します。

カードを複写して別のカードに応用

1件ずつ「カードの追加」画面を入力する手間を省くため、登録済みのカードの
使いたい部分だけを複写して別のカード作成に使うことができます。複写した
ものの貼付は、貼付先のカードの空白の欄にだけされます。**貼付先のカードに
文字が全部入力されていると、複写することはできません。**

例

ひとつの会社内の複数の人のカードを作るとき：



**1 ます複写したいカードを選び、「カードの追加」または「カードの変
更」画面で **[F3]** (複写) を押します。**

いったんコンピューターのメモリーに入れます。

2 貼付先になる「カードの追加」画面を表示します。

画面の空きの部分に複写されたカードが貼り付けられます。複写したい部分が
空白になっていることを確認してください。

3 **[F4] (貼付) を押します。**

ステップ1 でコンピューターのメモリーに入れた内容が貼付先の画面の同じ文
字位置に貼り付けられます。

カードの削除

住所録から不要になったカードを削除するには「カードの一覧：全体」で行います。グループや検索の「カードの一覧」では、削除できません。

- 1 **[ESC]** および **[HOME]** を押して、全体の「カードの一覧」画面を表示します。

氏名	マーク	住所
徳永俊介	#12	秋川市常盤4-3-4
中村孝	#13	大阪府池田市旭町1-3-1
西野三郎	#25	東京都中央区日本橋本町1-4-2
西野子	#25	東京都中央区日本橋本町1-4-2
日置子	#31	神奈川県横浜市青葉台2-2-1(サンコー青葉台)
藤山孝男	#26	千葉県浦安市西入船2-8-1-1
丹本昭子	#21	東京都品川区北品川6-7-35
武藤康之	#23	東京都品川区二葉2-21-1

追加 変更 削除 印刷 終了 差出 検索 グループ 案内 TEL

- 2 削除したい氏名を選び、**[RETURN]** を押します。

選ばれた氏名が白色になります。

一覧表のすべての氏名を選択するには、**[SELECT]** を押します。

一覧表のすべての選択を取り消すには、もう1度 **[SELECT]** を押します。

- 3 **[F3]** (削除) を押します。

- 4 確認のメッセージが表示されますので、確認後 **[RETURN]** を押します。

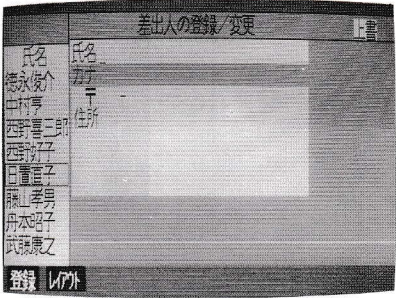
差出人の記入

葉書の表書きに差出人の名前を印刷したいときには、差出人の住所、氏名などを入力しておく必要があります。

差出人は1名だけ登録できます。差出人を変更すると、前の差出人は消えます。

1「カードの一覧」画面で、**[SHIFT]** を押しながら、**[F1]** (差出) を押します。

「差出人の登録／変更」画面が表示されます。



2 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

3 氏名、カナ (氏名のフリガナ)、〒 (郵便番号)、住所を入力します。

入力のしかたは、36ページ「宛名の記入」のときと同じです。

4 **[TAB]** を押して機能を選択する画面に切り換えます。

5 **[F1]** (登録) を押します。

作成した差出人が登録されました。

差出人のレイアウト状態をみるには

葉書に印刷したときにどのようにレイアウトされているか、確かめることができます。

レイアウト状態は目で確認する為のもので、印刷するときに改めて縦書か横書かを指定します。

1「差出人の登録／変更」画面で、**[F2]**（レイアウト）を押します。

「レイアウト」選択画面が表示されます。

2 該当する内容（印刷したい形式）を選び、**[RETURN]**を押します。

レイアウトが表示されます。

この状態で入力しても、表示されているレイアウトは変わりません。

差出人を変更するには

1「差出人の記入」と同様に、「差出人の登録／変更」画面を表示します。

2 **[INS]** を押して「上書」を表示し、既に記入してあるカードに新しい差出人の内容を記入します。

3 変更した差出人を登録するには、**[F1]**（登録）を押します。

葉書の表の印刷

「カードの一覧」画面に登録されている氏名宛に、葉書を印刷することができます。
また葉書だけでなく、シールやA4用紙にカードを印刷することもできます。

シール

〒180-33 千葉県浦安市西入船 28-1-1	〒395-48 東京都港区南青山5-11-5
伊藤 信吾 様	川岡 信敏 様
〒222-21 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 4階	〒106-33 東京都港区高輪4-10-18
坂本 祐也 様	千種 秀一 様
〒24-44 東京都新宿区歌舞伎町2-19-1	〒129-33 世田谷区小月賀3-1-102
高野 明夫 様	田村 紀樹 様
〒343-45 松江市常盤平4-3-4	〒533-45 大阪府恵庭市船室町13-1
徳永 俊介 様	中村 亨 様
〒223-45 東京都中央区日本橋本町14-2	〒227-33 神奈川県横浜市青葉台2-2-1 サンコー青葉台303号
西野 喜三郎 様	日置 直子 様
〒151-33 東京都品川区北品川6-7-35	
向本 昭子 様	

A4用紙

港区南山5-11-5

〒21-12 231-5627

〒222-10
東京都新宿区北新宿2-4-1
新宿NSビル 4階

〒30.4.10 554-6533

〒162 御中元
鈴木 建哉
佐藤工業株式会社

〒43.04.02 268-0000

〒108 +5
東京都港区高台4-10-18
林建設株式会社

〒20.12.11 234-5678

〒234 +40
東京都新宿区歌舞伎町2-19-1
高野電計 社長

〒7.10.11 387-4314

〒182 御中元
埼玉県安土市西入
28-1-1
佐々木産業株式会社

〒30.05.03 877-5383

〒123 +3
世田谷区大月賀3-1-102
青山電光株式会社

〒50.02.12 441-2800

〒123 年賀状
東京都杉並区門寺1-2-3
丸の内ビル4F
田村 義和

〒30.2.20 444-5555

宛先人を選ぶには

- 1 「カードの一覧」画面で、印刷したい氏名を選び **[RETURN]** を押します。

選ばれた氏名が白色になります。

氏名はいくつでも選べます。住所録の氏名全部を選ぶには **[SELECT]** を押します。すべての氏名が白色になります。

もう1度 **[SELECT]** を押すと、白色が消えて選択が取り消されます。

氏名	マーク	住所
田村 和子	12	東京都中央区区田寺1-2-3丸橋恵南ビル4F
徳永 俊介	12	秋田市常盤4-3-4
中川 孝	13	大塚市池田町1-3-1
西野 喜三郎	15	東京都中央区日本橋本町1-4-2
木村 孝子	15	東京都中央区日本橋本町1-4-2
田中 直子	30	神奈川県横浜市青葉台2-2-1サンコー青葉台
森山 孝男	10	千葉県浦安市西人船2-8-1-1
田中 孝子	21	東京都品川区北品川6-7-35

追加 変更 削除 印刷 終了 差出 検索 グループ 案内 TEL

- 2 **[F4]** (印刷) を押します。

「カードの印刷」画面が表示されます。

印刷項目を設定します。(60ページ参照)

- 3 **[RETURN]** を押します。

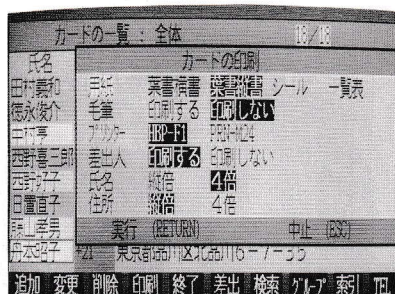
印刷が始まります。

ご注意

「次の用紙をセットしてください。」とメッセージが出たら、印刷が終わるのを待ってから用紙をセットして **[RETURN]** を押します。

印刷項目を設定するには

印刷する前に、どのような用紙にどのように印刷するかを「カードの印刷」画面で指定します。項目の設定は、項目を上下のカーソルキーで選び、内容を左右のカーソルキーで選択します。



用紙（印刷する用紙を選びます。）

葉書縦書 文字を縦書で印刷します。葉書はプリンターに横向きにセットします。半角文字で入力してある氏名、住所は「縦書」を指定しても「横書」で印刷されます。

葉書横書 文字を横書で印刷します。葉書はプリンターに縦向きにセットします。

シール 宛名ラベル（ソニーSMI-A008P）に印刷します。

毛筆、差出人、氏名、住所の項目は選択できません。全角で印刷されます。

一覧表 「カードの一覧」を、A4用紙にカード8枚ずつ印刷します。A4用紙を縦にプリンターにセットしてください。

毛筆、差出人、氏名、住所の項目は指定できません。

毛筆（宛名の住所、氏名を毛筆で印刷するか、しないかを選択します。）

印刷する 毛筆で印刷します。

印刷しない ふつうの文字で印刷します。

毛筆の印刷については、次ページ「毛筆で印刷するには」をご覧ください。

プリンター（印刷に使うプリンターを指定します。）

HBP-F1 HBP-F1のプリンター使用の場合

PRN-M24 PRN-M24またはPRN-M24TYPE II使用の場合

差出人（差出人を印刷するかどうかを決めます。）

印刷する	差出人を印刷します。
印刷しない	差出人を印刷しません。

氏名（宛先人の氏名の文字の大きさを指定します。）

縦倍	縦に2倍の大きさになります。
4倍	4倍で印刷されます。（「葉書縦書」が選ばれているときのみ）
全角	全角で印刷されます。（「葉書横書」が選ばれているときのみ）

住所（宛先人の住所の文字の大きさを指定します。）

縦倍	縦に2倍の大きさになります。
4倍	4倍で印刷されます。（「葉書縦書」が選ばれているときのみ）
全角	全角で印刷されます。（「葉書横書」が選ばれているときのみ）

毛筆で印刷するには

毛筆で「印刷する」を選んで印刷すると、「毛筆ディスクに入れ換える指示のメッセージ」が出ます。メッセージに従って、「毛筆ディスク1」（JIS第1水準）または「毛筆ディスク2」（JIS第2水準）を入れてください。

ご注意

- 印刷できる文字は、全角で入力された文字のみです。
- 横書の場合、氏名は敬称を含めて、11文字以内です。住所も1行につき11文字以内です。
- 半角で入力された宛名は、毛筆で印刷することはできません。
「印刷する」を選んでも、半角文字のまま印刷されます。
- 印刷項目で毛筆を「印刷する」に設定したときには、氏名、住所の文字の大きさは設定できません。
- 毛筆で印刷すると、印刷する文字数によって異なりますが、4分～13分程度、印刷に時間がかかります。

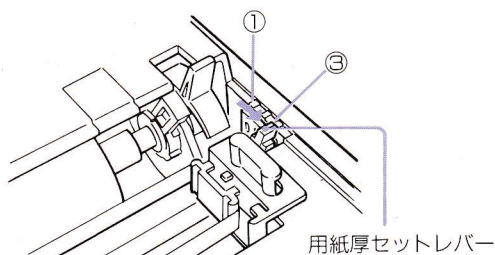
葉書をセットするには

PRN-M24 (TYPE II) の場合

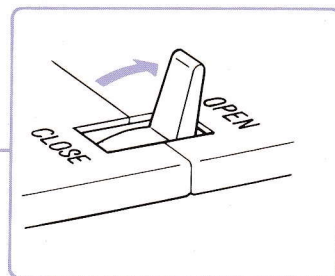
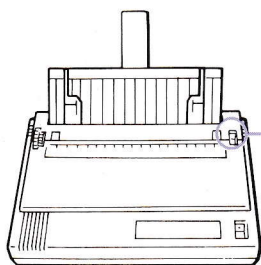
プリンターの電源を入れる前に、プリンター裏面のDIPスイッチを次のように切り換えてください。切り換えが終わってから、電源を入れます。

- スイッチ 1 — ON (自動印字改行)
 2 — OFF (MSXモード)
 3 — ON (改行ピッチ1/120インチ)
 4 — ON } (漢字24ドットピッチ)
 5 — ON }
 6 — ON } (1440ドット/8インチ)
 7 — OFF }
 8 — ON (ノーマルモード)

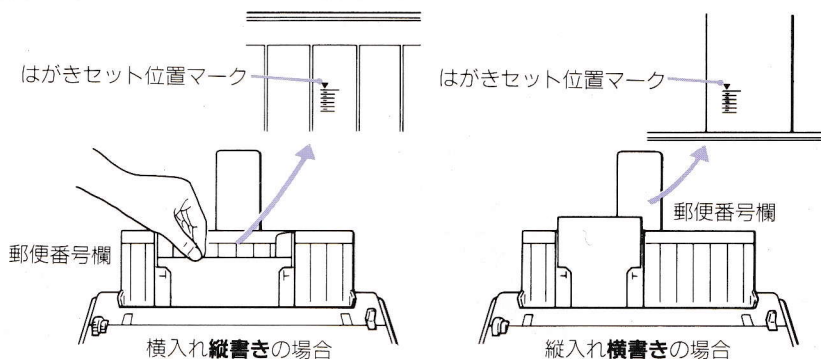
1 用紙厚セットレバーを3の位置にします。



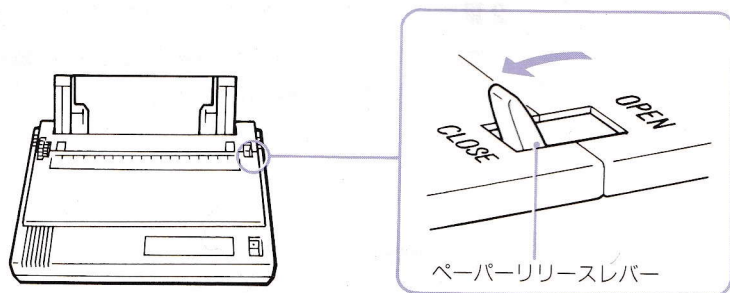
2 ペーパーリリースレバーを「OPEN」の位置にします。



3 葉書をシートガイドのセット位置マークに合わせて、図のように差し込みます。



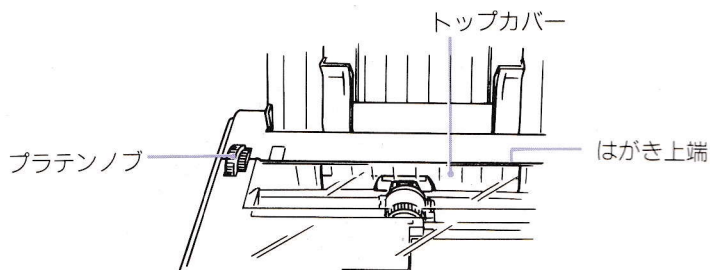
4 ペーパーリリースレバーを「CLOSE」の位置にします。



5 改頁スイッチまたは改行スイッチを押します。

葉書が自動的に引き込まれます。このとき、葉書の上端とトップカバーの端が合っているか確認してください。合っていないときは、プラテンノブを回して調整します。

葉書のセットができたら、トップカバーをはずします。つけたままで印刷すると、葉書がトップカバーに引っ掛かることがあります。

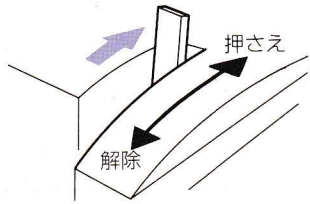


6 オンラインスイッチを押してプリンターをオンライン状態にします。

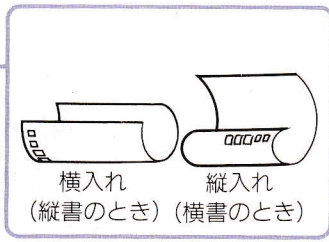
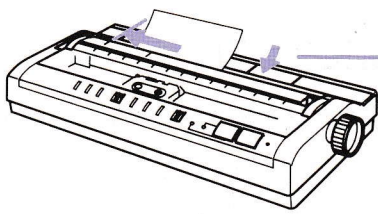
(オンラインランプが点灯します。)

HBP-F1の場合

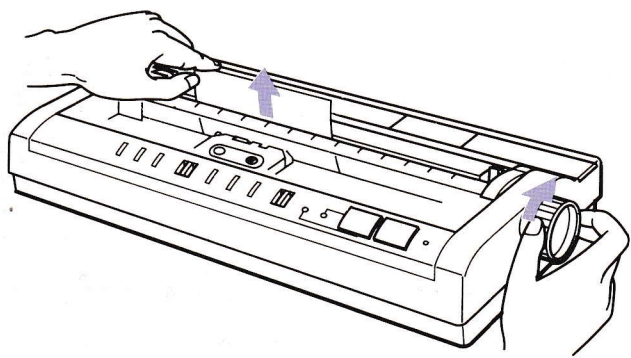
1 ペーパーリリースレバーを押さえ（後方）の位置にします。



2 葉書の左端をプリンターの葉書基準（葉書セット位置表示）に合わせ、宛名面が手前になるようにして、縦書の場合は横方向、横書の場合は縦方向に差し込みます。

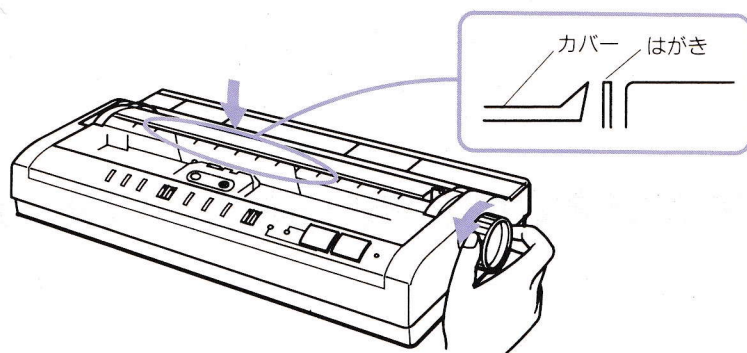


3 葉書を軽く押さえながらプラテンノブを後方に回し、葉書の端がトップカバーの上に出るようにします。



機能編
住所録—宛名書き—

4 プラテンノブを手前に回し、トップカバーの端と葉書の上端を合わせ、印刷開始位置にセットします。



ご注意

用紙を印刷開始位置にセットするときは、必ずプラテンノブを手前に回して最終的な印刷開始位置をきめてください。後方にまわした場合は、少し余分に用紙を送ってから、最後に手前に回して印刷開始位置を決めてください。(後方に回して位置決めをすると、印刷開始行にずれが生じることがあります。)

5 オンラインスイッチを押してプリンターをオンライン状態にします。
オンラインランプが点灯します。

宛名ラベル (ソニーSMI-A088P) のセットのしかた

1 宛名ラベルの左端をプリンターの基準位置に合わせて差し込みます。

2 プラテンノブを回して、トップカバーの端と宛名ラベルの上端を合わせます。

3 オンラインスイッチを押して、プリンターをオンラインにします。

ご注意

- 宛名ラベルは連続用紙のままセットしてください。
- HBP-FI で多くのカードを印刷すると、印刷位置がずれる場合があります。
この場合には [ESC] を押して印刷が中断するのを待ち、プリンターのノブを回して位置調整をします。その後 [RETURN] を押して、印刷を続行します。

作成した住所録をグループ分けして使う

住所録に登録してある氏名を、地域別、会社別、学校別など、8つまでのグループに分けることができます。それぞれのグループは、必要なときにグループごとに表示することができます。ひとつの氏名を幾つかのグループに所属させることができます。

グループ分けの操作には、住所録に登録されている氏名をグループに分けていく方法と、カードを新しく作ったときに、すでにあるグループに組入れていく方法があります。

住所録に登録されている氏名をグループ分けするには

すでに登録されている氏名を後からグループ（新しいグループあるいはすでにあるグループいずれか）に振り分ける方法です。

1「カードの一覧」画面で、グループに入れたい氏名を選び、**[RETURN]**を押します。

選ばれた氏名が白色になります。

何人かをひとつのグループに入れたいときには、この操作を繰り返します。

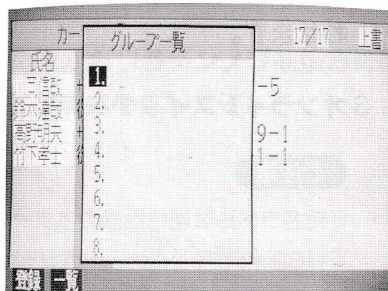
選んだ氏名を取り消すには、その氏名にカーソルを合わせ、**[RETURN]**を押します。

「カードの一覧」のすべてを選択したいときには、**[SELECT]**を押します。氏名がすべて白色になります。

すべての選んだ氏名を取り消すには、もう1度**[SELECT]**を押します。

2 **[SHIFT]** を押しながら **[F3]**（グループ）を押します。

「グループ一覧」画面が表示されます。



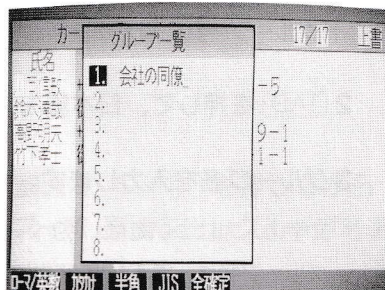
3 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

4 グループ名を入力します。

グループ名は、漢字10文字まで入力できます。

文字の入力については、39ページをご覧ください。

すでに、氏名を入れたいグループ名が記入されている場合は、カーソルをそのグループ番号に合わせます。



5 **[TAB]** を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

6 **[F1]** (登録) を押します。

これで、選ばれた氏名がカーソルのある番号のグループに登録されました。

選んだ氏名が入力したグループに入ったかどうか確認するには

[F2] (一覧) を押します。

「グループ一覧」画面でカーソルのある位置のグループの「カードの一覧」が表示されます。

グループ別「カードの一覧」画面を全体の「カードの一覧」画面に戻すには、

[HOME] を押します。

作成した住所録をグループ分けして使う

住所録に登録する時点でグループに振り分けていくには

すでにあるグループに新しいカードを振り分ける方法です。

1「カードの一覧」画面で、**[SHIFT]** を押しながら **[F3]** (グループ) を押します。

「グループ一覧」画面が表示されます。

2 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

3 グループ名を入力します。

文字の入力については、39ページをご覧ください。

グループ名は、漢字10文字まで入力できます。

すでに、氏名を入れたいグループ名が記入されている場合は、カーソルをそのグループ番号に合わせます。

4 **[TAB]** を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

5 **[F2]** (一覧) を押します。

「カードの一覧」画面の上にグループ名が表示されます。

氏名	マーク	住所
川崎信哉	#21	東京都港区南山5-11-5
塚本花也	#10	東京都新宿区北新宿2-4-1 新宿8ビル4階
千種秀一	#5	東京都港区高台4-10-18
高野明夫	#40	東京都新宿区駄町2-19-1
田村紀博	#9	世田谷区大戸賀9-1-102
徳永保介	#12	松江市常盤4-3-4
中村亨	#13	大阪府池田市姫室町13-1
西野豊三郎	#25	東京都中央区日本橋大町14-2

追加 変更 削除 印刷 終了 差出 検索 グループ 索引 印刷

6 **[F1]** (追加) を押します。

「カードの追加」画面が表示されます。

7 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

8「カードの追加」画面に宛名を入力します。

「カードの追加」画面の作成のしかたについては、36ページをご覧ください。

9「カードの追加」画面の記入が済んだら、**[TAB]**を押して、機能を選択する画面に切り換え、住所録に登録します。

これで作成したカードは住所録に登録されたと同時に、指定されたグループに入りました。

続けて同じグループに登録したいときには「カードの追加」画面を作成、登録していきます。

グループ一覧を見るには

1「カードの一覧」画面で**[SHIFT]**を押しながら**[F3]**（グループ）を押し、「グループ一覧」画面を出しグループを選びます。

2 **[F2]**（一覧）を押します。

「カードの一覧：グループ」画面が表示されます。

「カードの一覧：グループ」画面から全体のカード一覧に移るには**[HOME]**を押します。

グループから氏名を削除するには

1「カードの一覧」画面で、**[SHIFT]**を押しながら、**[F3]**（グループ）を押します。

「グループ一覧」画面が表示されます。

2 所属から外したいグループ名を選び、**[F2]**（一覧）を押します。

選ばれたグループの「カードの一覧」が表示されます。

3 グループから削除したい氏名を選び、**[RETURN]**を押します。

氏名が白色になります。複数の氏名を削除したいときには、この操作を繰り返します。氏名の選択を取り消すには、その氏名にカーソルを合わせて、**[RETURN]**を押します。白色が消えます。

一覧表のすべての氏名を選択したいときには、**[SELECT]**を押します。

一覧表のすべての氏名の選択を取り消すには、もう1度**[SELECT]**を押します。

4 確認のメッセージが表示されますので、**[RETURN]**を押します。

氏名が所属していたグループから削除されました。住所録からは削除されていません。

住所録の検索

住所録の検索方法には、特定の文字を入力してその文字を検索していく方法（「カードの検索」）と、氏名の読みがなを指定して、その部分の「カードの一覧」を表示する方法（「カードの索引」）とがあります。

特定の文字を検索するには

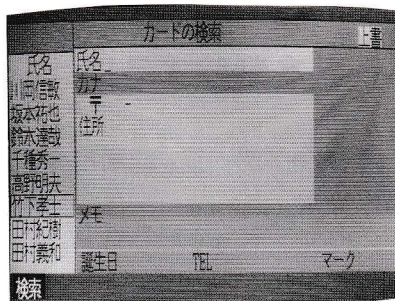
「カードの検索」画面に検索したい語句を入力して、住所録のすべての項目の中からその語句を検索していく方法です。

例えば、「カードの検索」画面に「東京都」と入力すると、住所録の中で「東京都」と記入してあるカードを検索します。また、「マーク」欄に覚書の目印などを記入してあれば、その目印を指定することにより検索することができます。

検索のしかた

- 1 「カードの一覧」画面で、**[SHIFT]** を押しながら、**[F2]**（検索）を押します。

「カードの検索」画面が表示されます。



- 2 **[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えます。

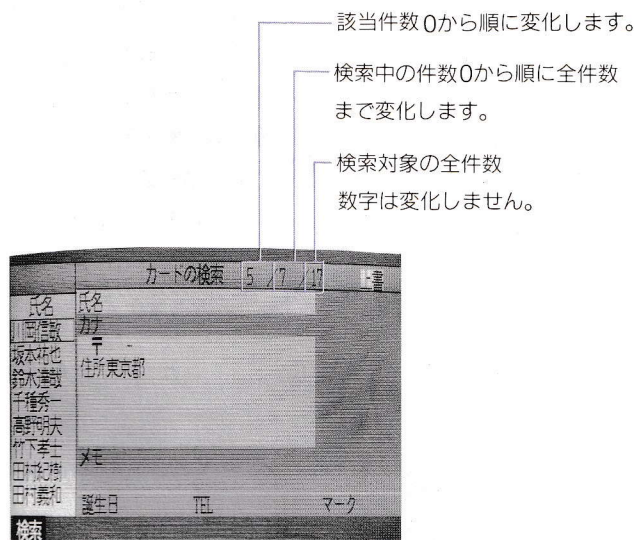
- 3 検索したい語句を入力します。

語句はカードのどの部分に記入しても検索できます。

入力のしかたについて、詳しくは次ページ「検索文字の入力のしかた」をご覧ください。

- 4 **[TAB]** を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

5 F1 (検索) を押します。

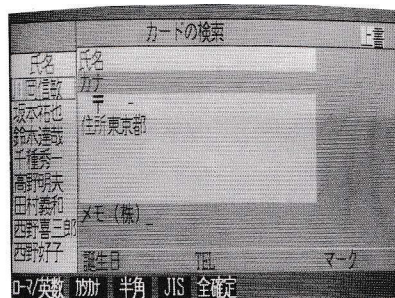


検索が終了すると、自動的に「カードの一覧」画面に戻ります。
 検索された氏名が「カードの一覧」(検索) 画面に表示されます。
 「カードの一覧：全体」画面に戻すには、HOMEを押します。

検索文字の入力のしかた

「カードの検索」画面に検索したい語句を入力します。

- 検索したい項目を選んで、検索したい語句を入力します。
- 検索語句は、何項目にでも入力できます。その場合すべての検索項目を満足したものだけが検索されます。



検索対象文字について

- 検索文字間のスペースは、検索の対象となりますので、スペースが入っているかないかによって、検索できないことがあります。
- 文字の大きさ、飾りなどの違いは異なる文字として扱われます。
- 記号の違いは検索の対象となりません。
- 検索しても一つも該当するカードが見つからなければ、検索の終了後、画面は元の「カードの一覧」に戻ります。

例 (これらの組み合わせは、異なる検索対象となります。)

東京都港区	と	東京都 港区
A B C	と	ABC
03(と	03-

- 項目内では、検索したい文字がどの位置にあっても構いません。
例えば、「品川区」を検索対象とする場合、住所が「東京都品川区」の人も、「品川区」と書いてある人も、検索対象となります。
- 同一項目内で例えば、「東京都品川区」と「京都府」と記入されたカードがあって、「京都」と検索語句を入力すると、どちらも検索されてしまいます。京都の場合は検索語句に「京都府」と入力してください。

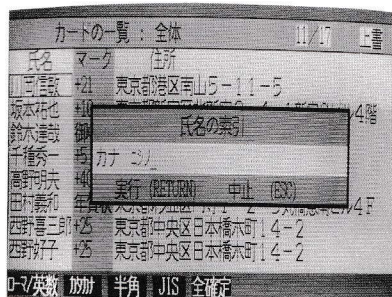
住所録の氏名を索引するには

特定の氏名の読みがな（フリガナ）を指定すると、それに該当する氏名以下の「カードの一覧」画面を表示することができます。

- 1 「カードの一覧」画面で、**[SHIFT]** を押しながら、**[F4]**（索引）を押します。

「氏名の索引」画面が表示されます。

[TAB] を押して日本語を入力する画面に切り換えます。



- 2 氏名のフリガナをひらがなで入力し **[RETURN]** を押します。

フリガナが半角のカタカナで表示されます。

- 3 **[RETURN]** を押します。

「カードの一覧」画面に、索引の読みがなに該当する氏名とそれ以下の氏名が表示されます。

ご注意

指定した読みがなは、カードに登録してある氏名のフリガナの先頭から検索します。完全に一致したフリガナが無いときには、指定した読みがなに近いカードを検索します。

住所録の終了

1「カードの一覧」画面を表示します。

(別の画面のときは、**[ESC]** または **[HOME]** を押します。)

2 **[F5]** (終了) を押します。

スタート画面に戻ります。

この操作は必ず行ってください。万一、途中で電源を切ったりリセットボタンを押すと、次回に住所録をスタートするときに、ディスクの中で登録したカードをすべて再度氏名順に並びかえるため、非常に時間がかかります。

オートダイヤル

通信カートリッジ（ソニーHBI-1200）を使うとMSX2パーソナルコンピューターを電話回線または電話機と接続することにより、住所録に登録してある電話番号を直接ダイヤルすることができます。接続については通信カートリッジの説明書をご覧ください。

オートダイヤルのしかた

住所録に登録してある番号に直接ダイヤルします。

1「カードの一覧」画面で電話をかけたい相手の氏名を選びます。

2 **[SHIFT]** を押しながら **[F5] (TEL)** を押します。

「カードのダイヤル」画面が表示されます。

3「カードのダイヤル」画面を設定します。

登録NO（登録したカードの電話番号の前に付けたい電話番号があれば入力します。）

例	0077 (DDI)
	03 (市外局番)
	0: (0発信の交換機)

TEL（選ばれた氏名の電話番号画面が表示されます。変更したいときには、番号を入力します。）

回線（ご使用中の電話回線の種類を指定します。）

ブッシュホン	ブッシュホン回線（トーン回線）
ダイヤル20	20PPSのダイヤル回線（パルス回線）
ダイヤル10	10PPSのダイヤル回線（パルス回線）

お使いの回線が不明の場合は、お近くのNTTにお問い合わせください。

4 **[RETURN]** を押します。

自動的にダイヤルします。

5ダイヤルが終わったら電話機の受話器をとって、電話機に切り換えるために [ESC] を押します。

ダイヤル中はテレビのスピーカーから、呼び出し音が聞こえます。

電話を切りたいときは、受話器をとらないで **[ESC]** を押します。

再ダイヤルするには

相手がお話し中のときには、同じ操作を繰り返さないでダイヤルすることができます。

[RETURN] を押します。

再び「カードのダイヤル」画面に設定した相手にダイヤルします。

機能編

第2章 文書作成

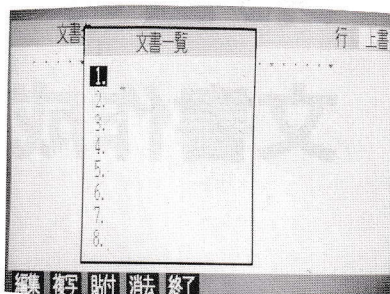
文書作成の準備	78
文書の作成	81
文書の編集	82
文書単位の消去と複写	88
文書の印刷	90
ディスクのバックアップ	91

「はがき書右衛門」には、住所録の他に、葉書の裏面を書くためのワープロ機能を備えています。

- 葉書の文面を作成、編集、印刷することができます。
- ディスクには8件（1件につき約600文字）の文書を収納できます。
- 文字に飾りを付けて印刷することができます。
- 毛筆の印刷ができます。

文書を作成する画面を表示するには

- 1 「はがき書右衛門」をスタートします。
- 2 「文書作成」を選び、**[RETURN]**を押します。
「文書一覧」画面が表示されます。



文書名をつけるには

文書を作成する前に、「文書一覧」画面にその文書の名前を入力しておきます。文書を作成したあとでも、名前はつけられます。文書名を入力をしない場合は、自動的にカーソル位置の数字の番号の文書となります。

- 1 「文書一覧」画面で、**[TAB]**を押し、日本語を入力する画面に切り換えます。

- 2 入力したい文書の番号を選び、文書名を入力します。

文書名として、全角文字で10文字まで入力できます。(英数字、カタカナは半角でも入力できます。)

文字の入力については、39ページ「文字の入力」をご覧ください。

- 3 **[TAB]**を押して、機能を選択する画面に切り換えます。

- 4 **[F1]** (編集)を押します。

文書編集画面が表示されます。

初めてその文書名の内容を入力するときには、自動的に「文書の書式」画面が表示されます。

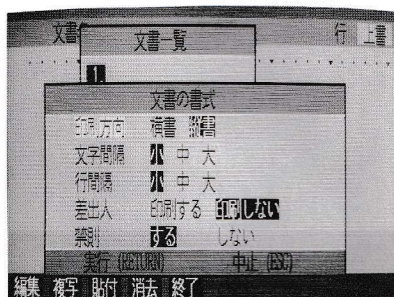
書式を設定するには

文書の仕上がりをもどのようにするかを指示するのが書式です。書式は文書ごとに設定することができます。

書式は基本的に文書を入力する前に設定します。途中で書式を変更すると、文書全体が新しい書式になります。

1 文書編集画面で、**[SHIFT]** を押しながら **[F5]** (書式) を押します。

初めての文書を作成するときには、文書編集画面を選ぶと、自動的に「文書の書式」画面が表示されます。



2 書式項目の中から設定する項目を選び、最後に **[RETURN]** を押します。

各項目ごとに選んだら、**[RETURN]** を押して書式をきめます。

印刷方向 (文書の印刷を横書にするか縦書にするかを選びます。)

横書 縦書

文字間隔 (文字と文字の間隔) 小 中 大

行間隔 (行と行の間隔) 小 中 大

全角で入力した場合の最大行数と文字数

	行間隔 (行)			文字間隔 (文字)		
	大	中	小	大	中	小
横書	25	27	30	21	23	25
縦書	15	17	18	26	30	30

差出人（差出人を印刷するかどうかを設定します。）

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 印刷する | 差出人を葉書の裏面下に印刷します。作成する文書の量が6行分少なくなります。 |
| 印刷しない | 差出人を裏面に印刷しません。 |

禁則（句読点「、」、「。」が行の先頭となるとき、強制的に前の行の後ろに追加するかどうかを設定）

- | | |
|-----|----------|
| する | 禁則を行います。 |
| しない | 禁則をしません。 |

ご注意

書式設定の選択内容によって、文書に入力できる最大行数、最大文字数が決まります。

文書の作成

文書の編集画面で葉書裏面の文面を作成します。

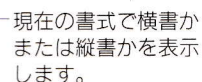
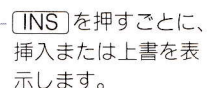
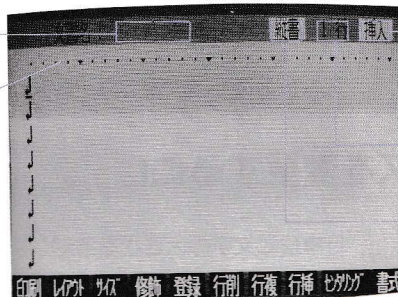
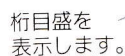
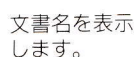
1 **[F1]** を押して編集画面を出します。

ここで実際に入力したり、編集したりします。

2文字を入力します。

文字はまず全角で入力します。後から編集することができます。

文書編集画面の説明



文書編集画面の入力について

- 文字の入力については「文字の入力」39ページをご覧ください。
- 1行に設定した文字数を越えて入力すると、自動的に次の行に移ります。
強制的に改行するには **[RETURN]** を押します。
- 画面で見えるのは、全角で8行です。それ以上入力すると、画面はスクロールします。1画面分スクロールするには **[SHIFT] + [▽]**、**[SHIFT] + [△]** を押します。
葉書1枚分の行数の限度は緑色の線で示されています。それ以上は入力できません。

- 1 行に設定した文字数を越えて入力すると、自動的に次の行に移ります。
強制的に改行するには **[RETURN]** を押します。

- 画面で見えるのは、全角で8行です。それ以上入力すると、画面はスクロールします。1画面分スクロールするには **[SHIFT]+[▽]**、**[SHIFT]+[△]** を押します。葉書1枚分の行数の限度は緑色の線で示されています。それ以上は入力できません。

入力した文書の文字に飾りをつけてより見やすく編集する機能を備えています。

文字に変化をつけるには

- 文字のサイズを変える・・・文字サイズ
 - 文字に飾りをつける・・・文字修飾
 - 文字を行の中央に移す・・・センタリング
- などがあります。

文書を編集するのに便利な機能として

- 文書または行単位で文字を削除する・・・行削除
 - 文書または行単位で文字を複写する・・・複写
 - 文書のレイアウトを見る・・・・・・・・・・レイアウト確認
- などがあります。

これらの機能は文書の編集画面から操作します。

文字のサイズを変更するには

行単位で文字の大きさを指定します。

指定した文字の大きさによって葉書1枚に書ける文字数が変わります。

全 角	縦 倍	横 倍	4 倍	毛 筆 4 倍	毛 筆 (16)倍
あ	あ	あ	あ	あ	あ

1 文書を入力した後、カーソルを文字の大きさを変更したい行に合わせ、**[F3] (サイズ)** を押します。

(カーソルはその行のどの位置にあっても構いません。)

「文字サイズ」画面が表示されます。

2 文字サイズを選び、**[RETURN]** を押します。

指定された行の文字が、指定の大きさに変化して表示されます。

ご注意

毛筆を選んだ場合は、画面上では毛筆書体では表示されません。サイズの変換指定をした行頭に、「筆」のマークが表示されます。

文字に飾りをつけるには

行単位で文字に飾りを付けることができます。飾りを指定すると、その行頭に選ばれた飾りのマークが表示されます。文字の飾りは印刷してはじめて見ることができます。

項目	内 容	マーク
なし	文字に飾りを付けません。	なし
強調	あ	強
斜体	あ	斜
白抜	あ	白
下線	あ	下

1 文書を入力した後、カーソルを文字に飾りをつけたい行に合わせ、

[F4] (修飾) を押します。

(カーソルはその行のどの位置にあっても構いません。)

「文字修飾」画面が表示されます。

2 お好みの文字修飾を選び、**[RETURN]** を押します。

指定した行頭に選んだ飾りのマークが表示されます。

ご注意

- PRN-M24 プリンターをご使用の場合は、斜体、白抜きをつけないで印刷されます。
- 強調は PRN-M24 プリンターで印刷してもあまり強調されません。
- 毛筆の行には、文字修飾はできません。

センタリングをするには

文字を行の中央に移します。(左右の空きを同じにします。)

- 1 文書を入力した後、文字を行の中央に印刷したい行にカーソルを合わせます。

(カーソルはその行のどの位置にあっても構いません。)

- 2 **[SHIFT]** を押しながら、**[F4]** (センタリング) を押します。

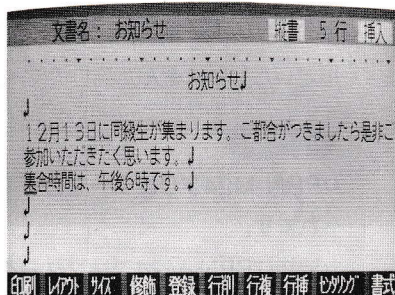
指定した行が中央に移ります。

行単位で削除するには

1 度に複数の行を指定して削除することができます。

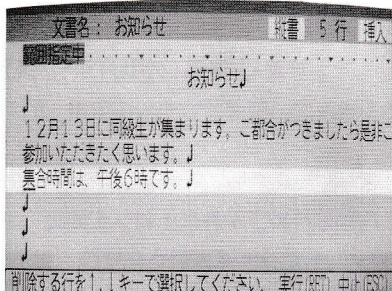
- 1 カーソルを削除したい行 (複数行の場合は、最初の行) に合わせ、

[SHIFT] を押しながら **[F1]** (行削) を押します。



- 2 カーソルを削除したい最後の行 (複数行の場合) に合わせます。

(1 行削除の場合は、このステップは必要ありません。)



- 3 **[RETURN]** を押します。

指定した範囲の行が削除されます。

複写するには

1枚の文書のなかに同じ文章が必要なときには、1行あるいは複数の行を指定して1度に複写することができます。

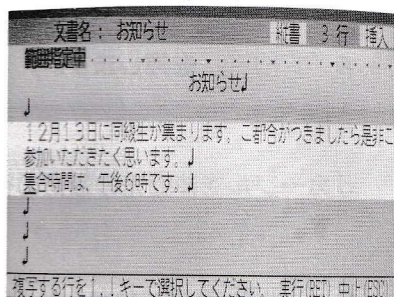
1 カーソルを複写したい行(複数行の場合は、最初の行)に合わせます。

(カーソルはその行のどの位置にあっても構いません。)

2 **[SHIFT]** を押しながら **[F2]** (行複) を押します。

3 カーソルを複写したい最後の行に合わせます。

(1行の場合は、このステップは必要ありません。)

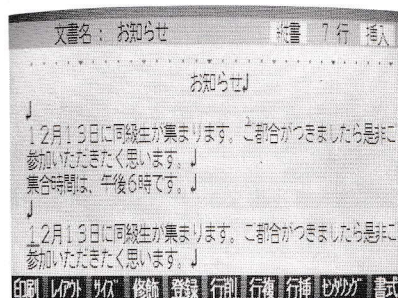


4 **[RETURN]** を押します。

指定した範囲がいったんコンピューターのメモリーに複写されます。

5 カーソルを挿入したい行の位置に合わせます。

6 **[SHIFT]** を押しながら **[F3]** (行挿) を押します。ステップ4でメモリーに複写された行が挿入されます。



移動するには

1 枚の文書の中で場所を移動したい文章があれば、複数行を指定して移動することができます。

1 カーソルを移動したい最初の行（複数行を移動する場合）に合わせます。

（カーソルは行のどの位置にあっても構いません。）

2 SHIFT を押しながら F1（行削）を押します。

3 カーソルを移動したい最後の行に合わせます。

（1 行移動の場合は、このステップは必要ありません。）

4 RETURN を押します。

指定された範囲が削除されます。

5 カーソルを移動先の最初の行（複数行を移動する場合）に合わせます。

6 SHIFT を押しながら F3（行挿）を押します。

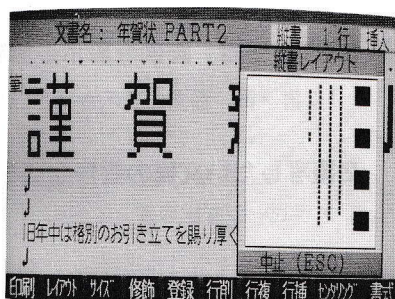
ステップ 4 で画面から消えた部分が挿入されます。

レイアウトを確かめるには

作成した文書がどのように入力されているか、レイアウト画面で確かめることができます。

[F2] (レイアウト) を押します。

葉書に文字が入力されている状態をブロックで表示します。



レイアウト表示を消すには

[ESC] を押します。もとの画面に戻ります。

登録するには

作成、編集した文書は必ず登録しておきます。あとで呼び出してそのまま使ったり、編集し直したりできます。

登録したい文書が表示されている状態で、**[F5] (登録)** を押します。

「文書一覧」画面に戻ります。

文書名が記入されていない場合は、ここでも入力できます。

登録しないで終了するには

[ESC] を押します。

「登録せずに終了してよろしいですか？」とメッセージが表示されます。

[RETURN] を押します。

「文書一覧」画面に戻ります。あらかじめ文書名を入れた場合文書名は残りますが、文書はディスクに登録されていません。文書名を削除するには、**[DEL]** または **[BS]** を押します。

文書単位の消去と複写

「はがき書右衛門」のプログラムディスクには8件の文書を登録することができます。

「文書一覧」に登録してある文書を他の文書に複写したり、文書ごと全部消去したりすることができます。

文書全体を複写するには

1度作成した文書を、他の文書に少しだけ変更して使用するとき便利です。

1「文書一覧」画面を表示します。

「文書一覧」画面が表示されていないば、**[ESC]** を押して表示します。

2 複写したい文書の番号を選び、**[F2]**（複写）を押します。

メッセージが出ます。

3 複写先の文書番号を選び、**[F3]**（貼付）を押します。

複写したい文書全体が指定した文書の番号に複写されました。

ご注意

- 複写、貼付を行っても「文書一覧」画面では文書名は変化しません。
- 文書名を変更したいとき、または文書名を付けたいときには、**[TAB]** を押して、日本語を入力する画面に切り換えてから入力します。

文書全体を消去するには

このプログラムディスクには8件の文書が保存できます。8件を越える場合には、不要な文書を消去しなければなりません。また、作成した文書をすべて作り直したいときには、文書の消去を行います。

1「文書一覧」画面を表示します。

「文書一覧」画面が表示されていない場合は、**[ESC]**を押して表示します。

2 消去したい文書の番号を選び、**[F4]**（消去）を押します。

メッセージが表示されます。

3 消去するには**[RETURN]**を押します。

消去を中止するには、**[ESC]**を押します。

指定した文書の文面が全部消去されます。

「文書一覧」画面から文書名は消去されません。

「文書一覧」から文書名を消去するには

[DEL]または**[BS]**を押します。

画面で作成した文書を印刷します。

宛名を印刷したときと同様にプリンターに葉書をセットします。

1 葉書をプリンターにセットします。

2 「文書一覧」画面で印刷したい文書番号を選び、（編集）を押します。

文書の編集画面が表示されます。

3 （印刷）を押します。

「文書の印刷」画面が表示されます。

4 印刷項目を設定します。

印刷部数（印刷部数を数字で入力します。9999部まで可能です。）

プリンター（プリンターを選択します。）

HBP-F1 HBP-F1 プリンター

PRN-M24 PRN-M24 TYPE II または PRN-M24 プリンター

5 を押します。

印刷が始まります。

ご注意

- 毛筆で印刷すると、毛筆の文字数によって異なりますが、3分から40分程度、印刷に時間がかかります。

ディスクのバックアップ

万一の事故で大切なプログラムディスクを壊してしまわないために定期的にディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。

次の順序で行います。

- 1 ブランクディスク（コピー先のディスク）を初期化します。
- 2 プログラムディスクからブランクディスクへコピーします。

ディスクを初期化するには

- 1 プログラムディスクを引き抜き、**[RESET]** ボタンを押してBASICを起動します。
- 2 コピー先のブランクディスク（2DD仕様のタブを動かして、書き込み可にします。（9 ページ参照）をドライブ A にセットして、CALL FORMAT と入力して **[RETURN]** を押します。
- 3 “Drive name? (A, B) ”
とメッセージが表示され
「A」と入力します。
- 4 “1-Single sided, 9sectors”
“2-Double sided, 9sectors”
とメッセージが表示されますので
「2」と入力します。
・機器によっては表示が異なるものがあります。このときには、2DD仕様の番号を入力してください。
- 5 “Strike a key when ready”
とメッセージが表示されますのでキーを何かひとつ押してください。
- 6 ディスクの初期化が終わると
“Format complete.”
“Ok.”
とメッセージが表示されます。

ディスクをコピーするには

まず、プログラムディスクをドライブAにセットします。

- 1 BASIC画面より
RUN "DISKCOPY, BAS"
と入力して **[RETURN]** を押します。
- 2 マスターディスク（プログラムディスク）の
タブを動かして、書き込み禁止にし（9ページ参照）
ドライブAにセットして、**[RETURN]** を押します。
- 3 "ディスクドライブノカズハ？（1/2）？"
のメッセージが表示され
 - ・ドライブが1台の場合は1
 - ・ドライブが2台の場合は2
 を入力して **[RETURN]** を押します。

ドライブが1台の場合は

- 4 "マスターディスクヲ イレテ **[RETURN]** キーヲ オス"
のメッセージが表示されたら、プログラムディスクをドライブAにセット
して **[RETURN]** を押します。

コピーの実行を取り消すには

[CTRL] を押しながら **[STOP]** を押します。

- 5 "ブランクディスクヲ イレテ **[RETURN]** キーヲ オス"
のメッセージが表示されたら、初期化したブランクディスクをドライブA
にセットして **[RETURN]** を押します。
- 6 操作の4,5をメッセージに従って6回繰り返します。

ドライブが2台の場合は

- 4 "マスターディスクヲ (A) ドライブニ イレル"
"ブランクディスクヲ (B) ドライブニ イレル"
"ヨウイガ デキタラ **[RETURN]** ヲ オス"
のメッセージが表示されますので初期化したブランクディスクをドライブ
Bにセットして、
[RETURN] を押します。

コピーの実行を取り消すには

[CTRL] を押しながら **[STOP]** を押します。

コピーが終了すると

“コピーガオワリマシタ”

のメッセージが表示されます。これでコピーが終わりました。

プログラムを再スタートする

コピーが終了したら、プログラムディスクのタブを動かして書き込み可にし、ドライブAにセットして **RESET** ボタンを押します。



付録

エラーメッセージ一覧	96
ローマ字かな対応表	97
JISコード一覧	99
索引	109

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因・対処
ディスクが書き込み禁止です。	ディスクが書き込み禁止の状態です。 ディスクを取り出し、ディスクのタブを上にならしてディスクドライブに入れ直します。
ディスクの準備ができていません。	ディスクがディスクドライブにセットされていない、またはディスクドライブの電源が入っていません。 ディスクドライブの電源が入っているか確認してディスクを差し込みます。
ディスクエラーです。	ディスクが不良です。 バックアップ済みのディスクに交換します。
ディスクがいっぱいです。	ディスクの残り容量がない、またはファイル数が112を超えています。 不要なファイルを削除します。または残り容量に余裕のあるディスクをセットします。
プリンターの準備ができていません。	プリンターの準備ができていません。 プリンターを接続して電源を入れ、オンライン状態にします。
MSX-JEがアリマセン。	本体にMSX-JEが装備されていません。 電源を切り、MSX-JEカートリッジをセットして電源を入れます。
MEMORY フソクデス。	本体のメモリーが足りません。 本体に内蔵しているソフト、または不要な機器を切り放します。
このディスクは違います。	違うディスクがセットされています。 メッセージに表示されているディスクをセットします。
通信カートリッジがありません。	本体に通信カートリッジが装備されていません。 電源を切り、通信カートリッジをセットしてから電源を入れます。

ローマ字かな対応表

あ 行	か 行	さ 行	た 行	な 行	は 行	ま 行	や 行	ら 行	わ 行	ん 行	が 行	ざ 行	だ 行	ば 行	ぱ 行
A	KA	SA	TA	NA	HA	MA	YA	RA	WA	NN	GA	ZA	DA	BA	PA
I	KI	SI	TI	NI	HI	MI		RI			GI	ZI	DI	BI	PI
		SHI	CHI									Ji			
U	KU	SU	TU	NU	HU	MU	YU	RU	WU		GU	ZU	DU	BU	PU
			TSU		FU										
E	KE	SE	TE	NE	HE	ME		RE			GE	ZE	DE	BE	PE
O	KO	SO	TO	NO	HO	MO	YO	RO	WO		GO	ZO	DO	BO	PO

あ	LA	や	LYA	き	KYA	ぎ	GYA	っ	LTU
い	LI	い	LYI	き	KYI	ぎ	GYI		
う	LU	ゆ	LYU	き	KYU	ぎ	GYU		
え	LE	え	LYE	き	KYE	ぎ	GYE		
お	LO	よ	LYO	き	KYO	ぎ	GYO		

しゃ	SYA	SHA	じゃ	ZYA	JYA	JA
しい	SYI		じい	ZYI	JYI	
しゅ	SYU	SHU	じゅ	ZYU	JYU	
しえ	SYE	SHE	じえ	ZYE	JYE	JE
しよ	SYO	SHO	じよ	ZYO	JYO	JO

ちや	CYA	TYA	CHA	ぢや	DYA	てや	THA
ちい	CYI	TYI		ぢい	DYI	てい	THI
ちゅ	CYU	TYU	CHU	ぢゅ	DYU	てゅ	THU
ちえ	CYE	TYE	CHE	ぢえ	DYE	てえ	THE
ちよ	CYO	TYO	CHO	ぢよ	DYO	てよ	THO

でや	DHA	にや	NYA	ひや	HYA	びや	BYA	ぴや	PYA
でい	DHI	にい	NYI	ひい	HYI	びい	BYI	ぴい	PYI
でゅ	DHU	にゅ	NYU	ひゅ	HYU	びゅ	BYU	ぴゅ	PYU
でえ	DHE	にえ	NYE	ひえ	HYE	びえ	BYE	ぴえ	PYE
でよ	DHO	によ	NYO	ひよ	HYO	びよ	BYO	ぴよ	PYO

ローマ字かな対応表

ふあ	FA	ふや	FYA	みや	MYA
ふい	FI	ふい	FYI	みい	MYI
		ふゆ	FYU	みゆ	MYU
ふえ	FE	ふえ	FYE	みえ	MYE
ふお	FO	ふよ	FYO	みよ	MYO

りや	RYA	ヴァ	VA	いえ	YE
りい	RYI	ヴィ	VI	うえ	WE
りゆ	RYU	ヴ	VU	うい	WI
りえ	RYE	ヴェ	VE		
りよ	RYO	ヴォ	VO		

非漢字

	15 コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号(NORMAL)	2120		、	。						、	；	？	！	・	-	-	-
	2130	-	—	、	×	×	×	×	〃	全	々	〆	○	—	—	—	/
	2140	\	～	〓		…	…	…	…	“	”	()	[]	[]
	2150	{	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×
	2160	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
	2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	2220	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=		
	特殊記号	2220															
2230		(有)	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	g	m	cm	mm	km
2240		cm	m	ml	mg	kg	μs	(付)	KK	TEL	No.	分	秒	分	秒	分	秒
2250		分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒	分	秒
2260		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	【	】	画	凸	凹	√	—	□	
2270			┌	┐	└	┘	┙	┚	┛	├	┤	┥	┦	┧	┨	┩	
2320		←	→	↔	↕	↖	↗	↘	↙	↚	↛	↜	↝	↞	↠	↡	
英数字(NORMAL)		2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	2350		P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z				
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	2370		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
ひらがな(標準)	2420		あ	い	う	え	お	か	き	く							
	2430		ぐ	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た						
	2440		だ	ち	っ	つ	づ	て	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	
	2450		ば	び	び	ふ	ぶ	ふ	へ	べ	ほ	ぼ	ま	み			
	2460		む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	れ	ろ	わ	わ			
2470		る	を	ん	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
カタカナ(標準)	2520		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク							
	2530		グ	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ						
	2540		ダ	チ	ツ	ヅ	テ	ト	ナ	ニ	ハ						
	2550		バ	ビ	ブ	パ	ピ	ポ	マ	ミ							
	2560		ム	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	レ	ロ	ワ					
2570		ヰ	ヱ	ヲ	ン	カ	ケ										
ギリシャ文字	2620		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
	2630		Π	P	Σ	T	Τ	Φ	X	Ψ	Ω						
	2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	2650		π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω						
	2660																
	2670																

[illegible]

JISコード一覧

JIS第1水準漢字

16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	3020	亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
	3030	旭	葦	蓼	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏					
い	3040									以	伊	位	依	偉	圉	
	3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯
	3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壺	溢
	3070	稻	茨	芋	蠲	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
	3120	院	陰	隱	韻	吋										
う	3120					右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鷄	窺	丑	
	3130	確	白	渦	噓	唄	蔚	蔚	嫫	嫫	浦	瓜	閏	噂	云	運
	3140	雲														
え	3140	荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閔	榎	厭
	3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿
	3170	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	塩								
お	3170							於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
	3220	押	旺	橫	歐	歐	王	翁	模	鶯	鷗	黃	岡	沖	荻	億
	3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	穩	音			
か	3230													下	化	仮
	3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌
	3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩
	3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓
	3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改
	3320	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	3330	外	咳	害	崖	慨	漑	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
	3340	垣	柿	蛭	鈎	劃	嚇	各	廓	擴	攪	格	核	殼	獲	確
	3350	覺	角	赫	較	郭	閣	隔	革	學	岳	樂	額	顎	掛	笠
	3360	櫃	梶	鯨	割	渴	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗
	3370	叶	桅	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嘴	鴨	栢	茅	萱
	3420	粥	刈	苧	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
	3430	完	官	寬	干	幹	患	慣	懣	換	敢	柑	桓	棺	款	飲
	3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝
	3450	莞	觀	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含
	3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贖	雁	頑	頑	頑				
16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
き	3460												企	伎	危	喜
	3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
	3520	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起
	3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	嬌
	3540	祇	義	蟻	誼	議	藹	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧
	3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急
	3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去
	3570	巨	拒	拠	挙	渠	虛	許	距	鋸	漁	襲	魚	亨	享	京
	3620	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強
	3630	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	與	蕎
	3640	鏡	響	響	驚	仰	凝	亮	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆
	3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿
	3660	謹	近	金	吟	銀										
<	3660					九	俱	句	區	狗	玖	矩	苦	軀	驅	驅
	3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	隅	遇	隅	申	櫛	鉏	屑	屈
	3720	掘	窟	杏	靴	響	窪	熊	限	糸	栗	繰	桑	欽	勲	君
	3730	薰	訓	群	軍	郡										
け	3730					卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	3740	契	形	徑	恵	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽
	3750	經	繼	繫	羈	莖	荊	荊	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎
	3760	劇	戟	擊	激	隙	析	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月
	3770	儉	倦	健	兼	券	劬	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
	3820	檢	權	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣
	3830	鍵	險	顯	驗	鯨	元	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	鉉
	3840	言	諺	限												
こ	3840					乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
	3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鉅	雇	顧	鼓	五
	3860	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	構	瑚	暮	語	誤	護
	3870	乞	鯉	交	佼	候	候	俦	光	公	功	効	勾	厚	口	向
	3920	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	3930	弘	恒	愷	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江
	3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	穉	穉	紅	絳	絞	綱	耕	考	肯
	3950	腔	膏	航	荒	行	衡	貢	貢	購	郊	酵	鉅	鉅	鋼	閣
	3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	壕	拷	濠	豪	轟	翹	克	刻
	3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	濾	腰	甌	忽	惚	骨	伯	込
	3A20	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	3A30	紺	艮	魂												
16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

16 コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
さ	3A30	些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂	詐	鎖		
	3A40	綫	坐	挫	債	催	再	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	
	3A50	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	裁	際	劑	在
	3A60	材	罪	財	牙	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	崎	磯	鷺	作
	3A70	昨	搾	昨	朔	欄	窄	策	索	錯	桜	蛙	笹	匙	冊	刷
	3B20	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鎗	蛟	皿	晒
	3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	纂	蚤	讚	贊
	3B40	酸	餐	斬	暫	殘										
し	3B40				仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	
	3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝
	3B60	死	氏	獅	社	私	糸	紙	紫	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時
	3C20	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿
	3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	雫	叱	執	失	嫉	室	悉	濕	漆
	3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蕊	綺	舍	写	射	捨
	3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼
	3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	殊	狩	殊	種
	3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
	3D20	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	緇	習	臭	舟	菟
	3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	迴	酉	酬	集	醜	什	住	充	十	從
	3D40	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
	3E20	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松
	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称
	3E50	笑	粧	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞
	3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	蟻
	3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	釵	囑	埴	飾	
	3F20	拭	植	殖	燭	織	職	色	蝕	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F30	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	疹
	3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁
	3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝					
す	3F50											箭	諏	須	酢	囃
	3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	鍾
	3F70	瑞	髓	崇	嵩	數	枢	趨	雛	据	杉	梶	菅	頗	雀	裾
	4020	澄	摺	寸												

16 コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
せ	4020				世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西
	4040	誓	請	逝	醒	青	静	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔
	4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折
	4060	窃	節	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川
	4070	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
	4120		纖	羨	腺	外	船	薦	詮	賤	踐	遜	遷	錢	銃	閃
	4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲						
そ	4130											噌	塑	岨	措	曾
	4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧
	4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匪	惣	惣	搜	掃	搔
	4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜
	4170	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎
	4220		臙	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速
	4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	
た	4230															他多
	4240	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	陀	舵	楯	陀	駄	驛	体
	4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋
	4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓
	4270	宅	托	拓	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	蛸	只
	4320		叩	但	達	辰	奪	脱	翼	豎	迪	棚	谷	狸	鱉	樽
	4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆	綻
	4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談		
ち	4340															値知地
	4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遲	馳	築	畜	竹	筑
	4360	逐	秩	窒	茶	嬌	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫
	4370	註	酎	鋤	駐	樽	濡	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
	4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	微	慫	挑	暢	朝	潮	牒	町
	4430	聽	脹	腸	蝶	調	謀	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勅	拷	直
	4440	沈	珍	賃	鎮	陳										朕
つ	4440															
	4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	罅	椿	漬	坪	壘	燭	袖	爪
	4460	釣	鶴													吊
て	4460															
	4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遞
	4520	邸	鄭	釘	鼎	掂	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲
	4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	軋
	4540	点	伝	殿	澱	田	電									顛

16 コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

16 コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
と	4540				兎吐	堵塗	妬屠	徒斗	杜渡							
	4550	登菟	賭途	都鍍	砥砥	努度	土奴	怒倒	党冬							
	4560	凍刀	唐塔	塘套	宕島	嶋悼	投搭	東桃	橘棟							
	4570	盜淘	湯湯	灯燈	当痘	禱等	答筈	糖統	到							
	4620	董蕩	藤討	膳豆	踏逃	透透	鐙陶	頭騰	關働							
	4630	動同	堂導	懂撞	洞瞳	童胴	苟道	銅峠	鴉匿							
	4640	得德	洩特	督禿	篤毒	独読	析椽	凸突	般届							
	4650	薦苦	寅酉	游嶮	屯惇	敦沌	豚遁	頓呑	曇鈍							
な	4660	奈那	内乍	風雍	謎澁	捺鍋	楮馴	繩暖	南楠							
	4670	軟難	汝													
に	4670		二	尼	式迹	句	販肉	虹甘	日乳	入						
	4720	如尿	韭	任妊	忍認											
ぬ	4720					溺										
ね	4720					襦	祢寧	葱猫	熱年							
	4730	念捻	撚燃	粘												
の	4730				乃廼	之	埜囊	悩濃	納能	腦膿						
	4740	農硯	蚤													
は	4740		巴	把播	霸杷	波派	琶破	婆罵	芭馬							
	4750	俳庖	排排	敗杯	盃牌	背肺	鞞配	倍培	媒梅							
	4760	煤煤	猥買	売賠	陪這	蠅秤	矧萩	伯剥	博拍							
	4770	柏泊	白箔	粕舶	薄迫	曝漠	爆縛	莫駁	麥							
	4820	函箱	硯箸	肇筭	櫨幡	肌畑	畠畠	八鉢	澆洩							
	4830	醜髮	伐罰	拔筏	閥鳩	嘶塙	蛤隼	伴判	半反							
	4840	叛帆	撥斑	板汜	汎版	犯班	畔繁	般藩	販範							
	4850	采煩	煩飯	挽晩	番盤	磐蕃	蜜									
ひ	4850							匪卑	否妃	庇						
	4860	彼悲	扉批	披斐	比泌	疲皮	碑秘	緋罷	肥被							
	4870	誹費	避非	飛樋	篋備	尾微	枇毘	琵琶	眉美							
	4920	鼻柎	稗匹	疋髭	彦膝	菱肘	弼必	畢筆	逼							
	4930	桧姬	媛紐	百謬	儀彪	標水	漂瓢	票表	評豹							
	4940	廟描	病秒	苗錨	鎮蒜	蛭鱒	品彬	斌浜	潁貧							
	4950	賓頻	敏瓶													
ふ	4950			不付	埠夫	婦富	富布	府佈	扶敷							
	4960	斧普	浮父	符腐	膚芙	譜負	賦赴	阜附	侮撫							
	4970	武舞	葡蕪	部封	楓風	葺落	伏副	復幅	服							
	4A20	福腹	複覆	淵弗	弘沸	仏物	鮎分	吻噴	墳							
	4A30	憤扮	焚奮	粉糞	紛雰	文聞										
へ	4A30					丙併	兵堀	幣平								
	4A40	弊柄	並蔽	閉陞	米頁	僻壁	癖碧	別瞥	蔑篋							
	4A50	偏爰	片篇	編辺	返遍	便勉	婉弁	鞭								
16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ほ	4A50														保舖	鋪
	4A60	圃捕	歩甫	補輔	穂募	墓慕	戊暮	暮母	簿菩	倣						
	4A70	俸包	呆報	奉宝	峰峯	崩庖	抱捧	放方	朋							
	4B20		法泡	烹砲	縫胞	芳萌	蓬蜂	喪訪	豐邦	鋒						
	4B30	飽鳳	鵬乏	亡傍	剖坊	妨帽	忘忙	房暴	望某							
	4B40	棒冒	紡肪	虧謀	貌貿	鉾防	吠類	北僕	卜墨							
	4B50	撲朴	牧睦	穆鉤	勃沒	殆堀	幌奔	本翻	凡盆							
ま	4B60	摩磨	魔麻	埋妹	枚枚	每哩	模慕	膜枕	鯖枉							
	4B70	鱗樹	亦俣	又抹	末沫	迄佟	繭磨	万慢	滿							
	4C20	漫蔓														
み	4C20		味未	魅巳	箕岬	密蜜	湊糞	稔脈	妙							
	4C30	耗民	眠													
む	4C30		務夢	無牟	矛霧	鷄鷄	嬌娘									
め	4C30														冥名	命
	4C40	明盟	迷銘	鳴姪	牝滅	免棉	綿緬	面麵								
も	4C40														摸模	
	4C50	茂妄	孟毛	猛盲	網耗	蒙儲	木默	目空	勿餅							
	4C60	尤戾	刼貫	問悶	紋門	勿										
や	4C60															
	4C70	矢厄	役約	藥訳	躍靖	柳藪	鱧									
ゆ	4C70														愉愈	油癒
	4D20	諭輪	唯佑	優勇	友宥	幽悠	憂損	有袖	湧							
	4D30	涌猶	猷由	祐裕	誘遊	邑郵	雄融	夕								
よ	4D30														予余	与
	4D40	誉輿	預傭	幼妖	容庸	揚搖	擁曜	楊樣	洋溶							
	4D50	熔用	窯羊	耀葉	蓉要	謠踊	遥陽	養慾	抑欲							
	4D60	沃浴	翌翼	淀												
ら	4D60				羅螺	裸來	萊賴	雷洛	絡落	酪						
	4D70	乱卵	嵐欄	濫藍	蘭覽											
り	4D70							利吏	履李	梨理	璃					
	4E20	痢裏	裡里	離陸	律率	立律	掠略	劉流	溜							
	4E30	琉留	疏粒	隆竜	侶慮	旅虜	了亮	僚兩	凌							
	4E40	寮料	梁涼	獫療	療稜	糧良	諒遼	量陵	領力							
	4E50	綠倫	厘林	淋燐	琳臨	輪隣	鱗麟									
る	4E50														瑠壘	淚累
	4E60	類														
れ	4E60	令伶	例冷	勵嶺	伶玲	札苓	鈴隸	零靈	麗							
	4E70	齡曆	歷列	劣烈	裂廉	恋憐	漣煉	廉練	聯							
	4F20	蓮連	鍊													
16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

JIS第2水準漢字

16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ろ	4F20				呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
	4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聿	蠟	郎	六	麓	祿	肋
	4F40	論														
わ	4F40	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	鷺	互	亘	鰐	詫	蕪	蕨
	4F50	腕	湾	碗	腕											
16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
一	5020	式	丐	丕												
丨	5020			个	卍											
丶	5020							丶	井							
丿	5020									丿	乂	乖	乘			
乙	5020													亂		
丿	5020													丿	豫	事
	5030	舒														
二	5030	式	于	亞	亟											
亠	5030					亠	亢	京	毫	亘						
人	5030											从	仍	仄	仆	仇
	5040	仞	仞	仞	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佖	修	侏	侏
	5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐
	5060	俾	倚	倨	偃	倪	倥	倅	倅	倣	倡	倩	倅	倅	倅	倆
	5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倅	倣	倫	傀	倣	倣	倣	倣
	5120	僉	僇	傳	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	5130	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
儿	5130											儿	兀	兒	兌	兔
入	5140	兩	僉													
八	5140			兮	冀											
冂	5140					冂	回	册	冉	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
冂	5140														冂	冂
	5150	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
冂	5150			冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
几	5160	凰													几	几
口	5160	口	函													
刀	5160			双	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
	5170	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
	5220	辦														
力	5220			勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑
	5230	勑														
勑	5230	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑
匕	5230									匕						
匚	5230												匚	匚	匚	匚
匚	5230														匚	匚
十	5240	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
卜	5240									卜						
卩	5240									卩	卩	卩	卩	卩	卩	卩
厂	5240													厂	厩	厩
	5250	厩	厩	厩												
厶	5250					厶	參	參								

[illegible][illegible]

	16進 コ-下	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
斤	5A50	斫斷															
方	5A50	旆旆旁旆旆旆旆旆旆无															
无	5A50													无			
日	5A50														旱	昊	昊
	5A60	晨	旻	杳	昵	昶	昴	易	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	皓	晨
	5A70	晨	哲	晰	晔	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暨	暹	曉	暎	警	
	5B20	曄曄暖曄曄曄曄															
日	5B20									日	曳	曷					
月	5B20													朧	朧	朧	朧
	5B30	朧霸															
木	5B30	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5B40	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5B50	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5B60	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5B70	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5C20	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5C30	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5C40	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5C50	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5C60	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5C70	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5D20	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
	5D30	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
欠	5D30									欸	歃	歃	歃	歃	歃	歃	歃
	5D40	欸欸欸欸欸															
止	5D40	歸															
歹	5D40									歹	殳	殳	殳	殳	殳	殳	殳
	5D50	殳殳殳殳殳															
爻	5D50									爻	股	股	股				
母	5D50											母	毓				
毛	5D50													毫	毳	毳	毳
	5D60	毫毳															
氏	5D60	毳															
气	5D60	气								气	氛	氛	氛				

	16進 コ-下	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
水	5D60									汞	汕	汕	汕	汕	汕	汕	汕
	5D70	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5E20	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5E30	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5E40	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5E50	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5E60	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5E70	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5F20	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5F30	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5F40	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
	5F50	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
火	5F50									炙	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒
	5F60	炙	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒
	5F70	炙	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒	炒
	6020	燔燔燔燔燔															
爪	6020									爭	爬	愛	爲				
爻	6020													爻	爻	爻	爻
月	6020															月	月
	6030	朧															
牛	6030	抵								抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵
犬	6030															犬	犬
	6040	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
	6050	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
玉	6050															玉	玉
	6060	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊
	6070	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊
瓜	6120	瓠															
瓦	6120	瓠								瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
	6130	瓠															
甘	6130	嘗															
生	6130									甬							
用	6130																
田	6130									早	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝
	6140	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝	畝
病	6140															病	病
	6150	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
	6160	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
	6170	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒	疒
	6220	癰															
癸	6220	癸								癸	癸	癸	癸	癸	癸	癸	癸

JISコード一覧

	16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
白	6220					皂	兒	販	皋	咬	皖	皓		皙	皚		
皮	6220															皸	皹
	6230	鞞	鞞	鞞													
皿	6230		盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
目	6230															眈	眈
	6240	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	6250	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	6260	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
矛	6260	矜															
矢	6260	矜															
石	6260					砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
	6270	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
	6320	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒	砒
示	6320												祀	祠	祇	崇	祚
	6330	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕
禺	6330												禺	禺			
禾	6330															秉	秣
	6340	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
	6350	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
穴	6350					穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹	穹
	6360	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠
立	6360					竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝
	6370	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝
竹	6370	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
	6420	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
	6430	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
	6440	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
	6450	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
	6460	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
米	6460	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮
	6470	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮	杮
糸	6470															紉	紉
	6520	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6530	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6540	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6550	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6560	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	6570	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
缶	6570															缸	缸
	6620	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇

	16進コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
网	6620					网	罕	罔	罕	罔	罕	罔	罕	罔	罕	罔	罕
	6630	羴	羴	羴	羴												
羊	6630					羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
	6640	羴	羴														
羽	6640		翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽	翽
老	6640															耆	耆
耒	6650	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒								
耳	6650					聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑
	6660	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑								
聿	6660					聿	聿	聿	聿								
肉	6660									肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	6670	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	6720	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	6730	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	6740	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
臣	6740									臧							
至	6740									臧							
白	6740															臧	臧
	6750	臧	臧														
舌	6750		舍	舍	舍												
舟	6750					舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
	6760	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩								
艮	6760					艮											
色	6760					艮											
艸	6760					艸	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6770	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6820	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6830	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6840	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6850	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6860	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6870	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6920	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6930	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
	6940	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾	艾
𠂔	6940									𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔

	16 通 一 F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
虫	6940																虱 蚓 蛇
	6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	螭	虺	蚺	蛞	蛭	蜚
	6960	蛟	蛛	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭
	6970	蟋	蟀	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭	蛭
	6A20		蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰	蚰
	6A30	蝗	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭
	6A40	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭	螭
血	6A40									衄 衄							
行	6A40										衄 衄	衄 衄	衄 衄				
衣	6A40																衫 袁
	6A50	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾
	6A60	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷	袷
	6A70	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
	6B20		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦								
西	6B20									衄 衄	衄 衄	衄 衄					
見	6B20														覓 覓	覓 覓	
	6B30	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓								
角	6B30									觚 觚	觚 觚	觚 觚	觚 觚				
言	6B30																訖 訖
	6B40	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
	6B50	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠
	6B60	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄
	6B70	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼	誼
	6C20	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄	諄
谷	6C20															飭 飭	
	6C30	穀															
豆	6C30		豈	豈	豈	豈											
豕	6C30						豕	豕	豕								
豕	6C30									豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
	6C40	豕	豕	豕													
貝	6C40				賤	賤	賤	賤	賤	貳	貳	貳	賈	賈	賤	賈	賈
	6C50	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
赤	6C50																赭
	6C60	赭															
走	6C60		走	走	走	走											
足	6C60						趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
	6C70	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
	6D20	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
	6D30	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
身	6D30													躬	躬	躬	躬
	6D40	軀	軀														

	16 コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
車	6D40	軋輓輓軋輓軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋															
	6D50	輓輓軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋軋															
	6D60	輓輓軋															
辛	6D60	辛辟辣辭辭															
讎	6D60							讎讎									

	16 道 コ ー ト	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
風	7120					風	颯	颯	颯	颯	颯						
食	7120													飪	飪	餃	餡
	7130	餹	餘	餡	飴	餞	饌	餅	餲	饌	饌	饌	饌	饌	饌	饌	饌
	7140	饌	饌	饌	饌												
首	7140					馘	馘										
香	7140							馥									
馬	7140									馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭
	7150	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭
	7160	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭					
骨	7160														骸	骸	骸
	7170	骸	骸	骸	骸												
高	7170					髡											
髡	7170					髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡
	7220					髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡	髡
	7220																
門	7220									門	門	門	門	門	門		
鬯	7220																鬯
高	7220																高
鬼	7230	魄	魑	魏	魑	魑	魑	魑	魑								
魚	7230									魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑
	7240	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑
	7250	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑
	7260	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑	魑
鳥	7260												鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7270	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7320	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7330	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7340	鳧	鳧	鳧	鳧												
鹵	7340					鹵	鹵	鹽									
鹿	7340							麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋		
麥	7340																麥
	7350	麋	麋	麋													麋
麻	7350				麻												
黃	7350					黃											
黍	7350					黍	黍	黍									
黑	7350									黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
	7360	黠	黠	黠													
薺	7360					薺	薺	薺									
瞿	7360							瞿	瞿	瞿							
鼓	7360									鼓	鼓						
鼠	7360													鼠	鼠		
鼻	7360															鼷	

[illegible]

索引

あ行

宛先人

宛先人をのカードを見る 50

宛名

宛名の記入 36

宛名の敬称の変更 47

宛名の登録 49

宛名の変更 51

宛名のレイアウト確認 48

移動 86

印刷

印刷項目の設定 60

毛筆で印刷するには 61

葉書の表を印刷する 58

葉書をセットするには 62

葉書の文面を印刷する 90

英数字の入力 41

オートダイヤル 75

か行

カーソル

住所録から氏名を選ぶ 59

カード

カードの削除 55

カード一覧画面 35

カタカナの入力 41

漢字

漢字の入力 44

他の漢字に変換する 44

JISコード一覧 99

JISコードを使った入力 46

キー上の表示と押しかた 40

記号の入力 40

行

改行 43

行移動 86

行間隔の設定 79

最大行数 79

行削除 84

行修飾 83

グループ

住所録のグループ分け 66,68

グループ一覧 69

グループから氏名を削除 69

敬称の変更 47

検索

文字の検索 70

さ行

削除

行の削除 84

住所録からのカードの削除 55

グループからの削除 69

文字の削除 42

索引

氏名の索引 73

差出人 56

書式

文書の書式設定 79

消去

カードの消去 (白紙にする) 49

文書の消去 89

挿入

文字の挿入 42

行の挿入 43

JISコードでの入力 46

た行

ディスク

ディスクについて 9

ディスクの初期化 91

ディスクのバックアップ 91

登録

宛名の登録	49
差出人の登録	56
文面の登録	87

な行

入力

かな入力	39
ローマ字入力	39

は行

貼付

カードの貼付	54
文書の貼付	88

ひらがな

ひらがなの入力	40
漢字からひらがなに直す	45

複写

カードの複写	54
行の複写	85
文書の複写	88

編集

文書の編集	82
-----------------	----

ま行

文字

半角文字	41
文字間隔	79
文字サイズ	82
文字修飾	83
文字の修正	42
文字数	79
文字の入力	39

毛筆

毛筆印刷	61
毛筆ディスク	9

ら行

レイアウト

宛名のレイアウト表示	48
文面のレイアウト表示	87

〇〇〇入はぬちの密門

住所録兼書印下